大正四年十一月一日發行大正四
明治卅七年五月七日第三種郵便

女子青年界

第十二巻第拾號

要目

□活ける學問……………三谷民子
□萬國女子青年會祈禱週……………ミス、レーガン
□犧牲の花……博士 新渡戸稻造
□理想の婦人(二)……林 靜太譯
□以賽亞書(二)……横田貞治
□花の籠……………
□彙報……………
□英文……………
□萬國基督敎女子青年會
祈禱週目錄……………

女子青年會第十二卷第十號

目次

□活ける學問……………………三谷民子
□萬國女子青年會祈禱週……………………ミス、レーガン
□萬國女子青年會祈禱週目錄……………………
□犧牲の花……………………博士 新渡戸稲造
□「理想」の婦人……………………林靜太譯
□以賽亞書……………………横田貞治
□花の籠（第二四）……………………
　お祈り……………………松榮譯
　戀しき鎚……………………堀川勘吾
□和歌……………………辻村靖子　寺西臺助
□所感……………………岡山花
□彙報……………………
　中央委員會……東京女子青年會々館披露……横濱……名古屋……同志社……搜眞……弘前……ウヰルミナ……プール……女子學院……梅花媬姆傳習所……共立……東洋英和……各支部……桑港女子青年會……消息……
□英文……………………
□廣告……………………

YOUNG WOMEN OF JAPAN

(JOSHI SEINEN KAI)

Volume XII　　November, 1915　　Number 9

Life in Study.... ....Miss T. Mitani
The World's Week of Prayer ....Miss Ragan
Program of Week of Prayer
The Blossom of Self Sacrifice ....Dr. I. Nitobe
The Ideal Woman.... .... Translated by....Mr. S. Hayashi
Studies in Isaiah (2) ....Rev. S. Yokota
Basket of Flowers.... "Prayer" ....Miss M. Morita
Poems ....Mr. K. Horikawa
Mrs. Y. Tsujimura
Mr. D. Teranishi
On Giving a Lift.... ....Miss H. Okayama
Miscellaneous:
National Committee Meeting; Opening of the Tokyo YWCA Building; Notes from Yokohama, Nagoya, Doshisha, Soshin, Hirosaki, Wilmina, Poole' s, Joshi Gakuin, Ueda, Kyoritsu, Tokyo Eiwa; San Francisco YWCA.
English Page.

AMERICAN BIBLE SOCIETY

TELEGRAPHIC ADDRESS "BIBLES YOKOHAMA

□詩篇付新約全書□

四號新約全書詩篇付	折皮金緣	一圓六十五錢
同　同	折皮マーブル	一圓三十五錢
同　同	脊皮	七十五錢
同　同	總金巾	五十五錢
六號小形引照新約全書詩篇付	インデア、ペーパー特製一枚折皮金緣	一圓六十錢
同　同	上製折皮金緣	一圓三十錢
同　同	上製總皮金緣	一圓十錢
同　同	折皮金緣	九十錢
同　同	總金巾	三十五錢
袖珍新約全書詩篇付	上製折皮金緣	九十錢
同　同	上製總皮金緣	七十五錢
同　同	總皮金緣差込付	六十錢
同　同	總皮	三十錢
同　同	總金巾	二十五錢
六號小形新約全書詩篇付薄手	インデア、ペーパー特製一枚折皮金緣	一圓二十錢
同　同	上製折皮金緣	九十錢
同　同	一枚折皮金緣	八十錢
同　同	總皮金緣	六十錢
ローマ字綴新約全書詩篇付	一枚折皮金緣	一圓五十錢
同　同	總皮金緣	一圓二十錢
同　同	總金巾	六十錢

□定價目錄御申越次第進呈

各國語聖書發賣所

横濱市山下町五十三番

米國聖書會社

振替貯金口座 東京 壹八四壹〇番

◎**常盤唱歌集演藝集第一、第二**

孰れも定價金四拾錢、郵税金六錢

◎**新約全書一年研究** 定價金四拾錢 郵税金六錢

◎**耶蘇一代記** 定價金貳拾錢 郵税金四錢

◎**聖書修身談** 定價金貳拾五錢 郵税金四錢

◎**日曜學校五十教課** 定價金八錢 郵税金貳錢

◎**文字の話** 定價金拾貳錢 郵税金貳錢

◎**十誡の話** 定價金參拾錢 郵税金四錢

右の外日曜學校教師諸君の用ゐられて有益なる雜誌も亦生徒諸子に與ふる面白きカードなど澤山取揃へこれ有候間目錄御入用之御方へは御申越次第直に進呈致すべく候

横濱山手三十七番

常盤社

御大典樂器購入の好機!!

奉祝記念章附 特價提供



千歳一遇の御大典に際し
陛下の御高徳を讃美し、御登極を誠意祝福し奉るの道は御當日全國民擧つて、今回文部省御撰定**奉祝歌**を「君ケ代」とともに**高唱**するにあり。

更にこの際、金色燦爛たる我社謹製の**記念章**を附せる**ヤマノ**ピアノ・オルガンを購入或は交換して奉祝歌に和するあらば、一層感興を深うするのみならず、實に好個の記念なりと信ず。弊社は以上の御要求に應じ、且つ奉祝の微意を表する爲、此際御注文の樂器は、曩にショルッ音樂學校教授の推賞せられし優良品に更に精巧の技を加へ、一々斯道大家の鑑定を經て謹製の上**破格壹割五分引の特價割引券**を提供し、更に弊社が多額の費用を投じて謹作せる高尚優美なる

御卽位記念章を無代附着す

希くは此際御買上げの榮を賜へ

速に目錄を請求あれ

△ピアノ目錄
△オルガン目錄
△樂器樂書目錄
以上三種各別冊 送料各貳錢

東京銀座 山野樂器店

大典記念樂器割引券

△樂器御注文は此券を切取り御添附の事
△有効期限は大正四年十二月卅一日限り
△ピアノ、オルガンは定價の壹割五分引
△舊松本製樂器は特に貳割以上割引
△ピアノ、オルガン以外の品は五分引
△本券は一回限り有効、前金の事

松本樂器合資會社改メ

東京銀座 **山野樂器店** 電話京橋 二二九八

萬年筆修理

萬年筆御使用諸賢の御便宜を計り萬年筆一切の修理を迅速叮嚀に且つ頗廉價を以て御取扱可申候東京市内は御一報次第參上可仕諸地方の御方は現品御送被下候へば御修理の上直に御返送可申上候

修理料金表は御一報次第御送呈可仕候

東京市本郷區駒込坂下町二一九

パンリー萬年筆
製造販賣元　合資會社　エス、エス、商會

電話下谷六四九九番

パンリー萬年筆

十四金ペン付。インキ止安全裝置。

クリップ付。

實用向逸品御用命願上候。若し現品御覽の上御意に充たざる節は直ちに御返戻相成度然る上は代金早速御返却可申候。

主張

社會の改良、風紀の廓清
男女の貞潔、家庭の和樂

月刊雜誌　**廓清**　一部六錢

廓清會員へは每號無代配送す。

廓清會規則入用の向は申越次第送附す。

東京市芝區
三田四國町二　**廓清會本部**

電話　芝　五八五五番
振替口座東京貳七〇七貳番

奉祝御大典

君が代は千代に八千代にさゞれ石の
いはほとなりてこけのむすまで

あめつちのむた　きはみなき
あまつひつぎの　みくらゐに
わがおほぎみの　のぼります
けふのみのりの　たふとさよ

おほきたゞしき　きみがよの
おほみいはひに　とつくにの
つかはしびとも　つらなりて
ともにことほぐ　めでたさよ

わがやまとの　くにをめぐみ
あらぶる　かぜをしづめ
よゝやすけく　をさめたまへ
わがかみ

わがやまとの　くにをめぐみ
けがしき　なみたゝせで
とこしなへに　きよめたまへ
わがかみ

わがひのもと　ひかりをそへ
みこゝろ　おこなはれて
主のみくにと　ならせたまへ
わがかみ

女子青年界　第十二巻第十號（大正四年十一月一日發行）

會説

活ける學問

三谷民子

私が近頃最も痛切に感じて居る事は、若い人達が一夜造りで學問なり手藝なりを修め、しかもこれらを過去のものにしておいて、それで得々としてゐる傾向がます／＼甚だしくなつて來はしないかと言ふ事であります。例へば私の關係して居る女子學院に入學したいと云つて來る者、即ち地方の高等女學校などより、轉校の希望で來る人達の傾向を見るに、入學試驗受驗の際、學校の程度が相違して居るため合格し得るからと言ふ事などを心配するよりも、自分が今までの學校で勉强して居つたより、上の級に入れられたいと云ふ事を望み、又入れるのを誇りたい有樣であります。例へば以前の學校では、三年には進級して居ないが、二年の終りまで進んでゐるのであるから此方では三年に入りたいと要求いたします。然らば入學試驗の上でと云つて、いざ試驗をして見ますと、その結果は少しも見えません。尙甚だしきに至つては、もはやこれも習ひました、あれも習ひましたと云つてそれで入學試驗を受けずして入學しやうとするものさへ少なくありません。而してこの種の人は重に習つたと云ふ過去の事實のみで、

いよ〳〵試驗を行ふ時は、全くそれが無益なる事をして居たといふ事を示すものであります。

今日は一般に後日それが役に立たうが立つまいがそれには一向われ關せず焉と言ふ有樣で、唯既に習つたと云ふ其事のみを誇りとして居ります。即ち茶の湯も習つたし、生花も習つたし、琴もならつたしと、凡て勉强稽古事を過去に置き、實際活用するに於て、どれ丈けの價値があるかと言ふ樣な事は一切念頭に置かない。例へば刀をだして、これは昔はなか〳〵切味のよい名刀ですといつて誇つて見た處で今日現在それが錆て居つたり或は刄がかけて居つたりして居る樣ならば、それは何の役にもたたないのでありませう。まづ假りに一歩をゆづつて、昔は名刀であつたのならばまだよいとしても、今の若い人たちの學問は眞の名刀ではなく、たゞ一時銀紙でも貼つて、ごまかしたものであると言ふても過言ではありますまい。

これはその娘達の虚榮心が强いからであるのみならず、社會一般にさう言ふ傾向が漲ぎつて居るからであらうと私は考へます。人間が生れて十七八年の間にさう何にもかも揃つて完全に修得し得られるものでないと言ふことは明白であります。然るにあらゆるものを噛りかけて居つて、甚だしきに至つては噛じりもして居らない、唯店頭にならべてある稽古や學問を素見たばかりであるかも知れません。然るにそれを味ふた、など言ふて得意がつて居るのは實に面白くない傾向ではありますまいか。しからばこれに對する社會家庭の態度はどうかと見るに其の社會家庭は雨が降つたり風が吹いたりしたらば即座に消え去り、影だに殘す事の出來ない砂上の書のやうな教育を授けて、これをもつて滿足し、それで秀才で御座るの才媛で御座るのと云ふ看板をかけさせてとりすまし、しかもこれを賞揚措く處が無いと言ふに至つては其危險言語に絶するものがありませう。もはや申すまでもありませんが學問はどうしてもたゞ過去の事實でなく活きた生命のある學問でなけれ

ば役に立ちません。深く掘れば掘るほど美しい清い水が混々と湧き出づるやうに、どうかこの若い人達が前に云つた看板で滿足しないで內容の充實した學問をするやうに努め、社會家庭もまたこの種の學問を奬勵するに至つたならば、その時はじめて眞面目な充實した生活を經營し、吾が國の家庭も社會も大いに之を改善し得る處あるを疑がはないのであります、自分が今敎育事業にたづさはつて居りますのでこの傾向を見て大變な歎かはしい事と思ふて居るのであります。どうか之を受くるものも授くるものも生氣のあふれてゐるものにあらざれば滿足しないと云ふやうに致したいものだと思ふて居ります。

萬國女子青年會祈禱週に就て

ルース、レーガン

私は今將に萬國女子青年會祈禱週に入らんとする時に際し、この特別なる時に於ける私共の祈りは何でありませうか。私共の祈りが如何にして全世界の婦人を助ける事が出來ませうかと自問致したのであります。

そして先づ世界の異つた國にある婦人達について又かれらの思想、要求、熱望は何であるべきかを考へて見たいと思ひます。そして今やこの國々に於る青年會の働は全然避難者、傷病兵及外國の地にありて戰爭のため通信杜絕し其の本國より何等の音信に接しない學生等を救助する働きに變化致しました、これ等の國に於ける私共の姉妹の悲歎、憂苦、其生活に於ける勇氣の必要はどんなでありませう、この世界の殆んどすべてが、よし或る國々は戰に加はつ

て居らないにしても、この戰によつて大なる影響を受けて居ります。例へば職業の缺乏や食物の高價等即ち生活難によつて苦しんで居るものは非常に多いのであります。今日に於ては世界全國互に密接なる關係を有して居りますので一國が苦みを受ける時は他の凡ての國々も共にその苦しみに與かるものとなるといふ事が益々事實となつて參りました。然し世界に於ける肉體的及知的の苦惱は漸次私共の精神的缺乏に對する新らしき觀念を生ぜしめました。從つて人々は如何に神を知りこれに從ふべき必要があるかと云ふ事を最も痛切に感じて居ります、而してかれらは又人々が若し眞に世界が神を知つたならば其の同輩に對しクリストにある兄弟の如くに行動するを以て今日の如き憂苦はなかりしものをと感じてをります。

この祈禱週に於て青年會を有する地球上の全國は互に一家族として祈るので御座います、死とか失望とかの標語の代りに私共の標語は『生命』で御座います。生命即ち『眞の生命』であります。そしてキリストは實に私共が此の生命を得てこれをゆたかならしめんために來り給ふたのであります。

各國において私共の祈るべきものは何であるかを知らしめんため各女子青年會は私共のすべてに對して共働きに於て、神に對し感謝すべき事、及私共が共に祈り求むべき事項を送りました。一青年會は私共に神の御國に對する愛國心の尙一層盛んならんため祈るやうに望んで居ります。私共基督敎信者の中幾人眞に神の聖國に對し愛國心の强きものがありませう。私共は其學校に對し、其町に對し、其國に對しては强き愛國心を有して居りますが、然し神の聖國に對して眞實の愛國心を有して居りませうか。若し私共がこの愛國心を有して居るならば、所謂基督敎國が、かりそめにも直に破壞し、掠奪を縱にするが如き事を敢て致すでありませうか。

私共が日々世界の異つた國々にある婦人達のため祈る時、未信者のためと同じく信者のためにも祈ら

ないでありませうか。又これ等の婦人達を私共が十分に知り、これを好く了解し、且其婦人達が苦しみ又は他人に奉仕する場合、眞心よりこれを愛し、同情する處の親しき人々として考へないでありませうか。神は人間にとりて必須なるものであると云ふ事に付きての尚一層新らしき且鋭き觀念をもつて神に向ひつゝある事を思ひ、感謝しないでありませうか今日の苦痛と死より神の聖國の現出せん事及び天に於ける如く神の御心をこの地上に致すやう且『眞の生命』を知るに至るやう、眞心より祈らないでありませうか。

萬國基督教 女子青年會祈禱週

主題『眞の生命』

格言『キリストの愛われらを勉せり。我儕思ふに一人、衆の人に代りて死たれば、衆の人すでに死たる也、その衆の人に代り死しは、生者をして以後おのが爲ならず己に代り死て甦りし者のために世を過さしめんとて也。』

『是故に人キリストにある時は新に造られたるものなり舊は去りてみな新らしくなるなり。』

（コリント後書五ノ十四、十五、十七）

十一月十四日（日曜日）

『我が來るは羊をして生命を得且豐ならしめん爲なり』（ヨハネ十ノ十）

われら祈る時われの願をよろこびて聽き入るるのみならずこれに應ふる權力をもち給ふ神に近づけるを思ふべし。

●感謝　凡ての國に於ける女子青年會が今日の如き緊急の際、廣く其國民全體によき感化を及ぼす機會を得たる事。

●祈禱　斯く與へられし機會の充分に利用せられ、青年會が益々國民及國際間の正義の念を强からしむるにあづかつて力あらんが爲。

十一月十五日（月曜日）

人類は生命を要す。

ローマ書六ノ二十三、ヨハネ傳三ノ三、五

『衆の人旣に死にたる』時、彼れらは何を求むるやを考ふべし。

失望に沈める人間が文明のみによりて擧げられたる場合は何れの世の歷史に於てもこれを見ず。基督教は花にあらず、根なり、文化は根にあらず花なり。

ガスタブ、ワーネツク教授

基督教は國際關係にあづかる事なきを以て、今回の戰によりて破壞されしものは基督教にあらず、失落せるものは基督教にあらざる文明なり。

テンプル氏

亞弗利加

△南亞弗利加。埃及。チユニス。ナイロビ。

感謝　南アフリカ青年會がこの戰時に於て神の愛護と備への充分なりしため。○埃及青年會の新事業に對し多くの必要なる機會のあたへられし事。○チユニス青年會祈禱聯合會員の忠實にして堅固なる事。○ナイロビ青年會事業の進捗の勵獎せられし事。大いに要求しをりし總幹事の萬國より來り既に働きをはじめし事。

祈禱　南アフリカ婦人が結合して不義の勢力に抵抗しうる强き力のあたへられんため。而して宗教に冷酷なるに因る主に對する不敬世俗的標準の承認、快樂の進求に放縱なる事等より救はれんがため。○本部及支部の役員及委員のため。○青年會の働きにおける神の聖旨のます〳〵明瞭にならんがため、これが特權と責任に關する觀念の深くならんが爲め。○青年會がこの國より働人を得、且和蘭語を常用せる婦人少女等の間にこの働の擴張せられんがため。○埃及青年會の神の御國に對します〳〵愛國の念の盛ならんため。今年着手する學生間の事業の發達せんため。ポートセードに組織されたる支部のため。アッシウトに於ける働を發展せしむる方法の與へられし爲。○チユニス青年會の地中海沿岸に於る聖書の組の爲。○ナイロビに於ける青年會が凡ての方面に亘りて發達せんがため。新寄宿舍の適時設立されん爲。青年會が全國に亘りて社會的正義の最高理想とならん爲。

△アルヂヤ。オニッシヤ。アベオクタ。イバタレ

右の諸國における青年會よりは特別に祈るべき題目を送り來らずと雖も同じくこれらの青年會事業のため祈るべし。

註　南アフリカは歐洲人のため七ケ所に支部を有し其六ケ所には宿泊所あり。東ロンドン市には町の中央に休憩所を有す。人口の多數は土人及黑人なり。大都市は主に英國及和蘭人これを占め、教師看護婦女中商店員等なり。一支部は近日フレトリヤ市外に於ける養育院に癩病人のため働を開始せり。○東、西アフリカ青年會は教會と連絡あり、女子は主にミッションスクールにて教育を受け、主に農業に從事せり。ナイロビに於ける青年會にして其會館設立の爲資金を募集せり。○北アフリカの大部はマホメット教徒なりヨーロッパ諸國の保護の元にある國は人種宗教一定せず、青年會は家庭教師商店員等なる若きフランス、イタリー、英國婦人の間に活動す。カイロ及アレキザンダーには青年會ホームありて常に滿員なり。

十一月十六日（火曜日）

キリストの死によれる生命。

十字架はキリスト教の中心なり。キリストは死に給へり。罪の重荷の取り去らるゝはキリストの十字架に於てのみ。われら全世界に於ける青年男女のため祈る時、吾等がキリスト其生命をあたへたまひし人々に代りて祈れる事を記憶すべし。

北亞米利加

△カナダ

感謝　青年會員が其精神的發達を遂げ且つ青年會の目的の漸次了解されたる事。戰爭のため困難なる狀態にありて尙堅固なる信仰のあ

たへられし事。

祈禱　すでに青年會々員たる若き婦人をキリストに導くため。○尙多くの祈禱と靈的勢力のあたへられんため。○愛と熱心とをもつて多くの人を青年會に導かんため。○高等女學校並に商店にある若き少女等のため働きの擴張せられんため。

△合衆國

感謝　パナマ六平洋博覽會場内における女子青年會館により多くの若き婦人をたすけ其便宜を計る機會のあたへられし事。○今年十五人の幹事が外國の地に赴任せし事。

祈禱　會員が特に研究をつみて世界平和の原動力とならんため、○教育ある婦人が青年女子の缺陷を補ひ自ら進みてこれらが指導の任にあたらんため。

△西インド諸島。ブラヂル。アルゼンチン。

特別に祈るべき題目來らざりしも目下繼續されつゝある働きの上に神の祝福豊ならん事を祈るべし。

註　カナダには青年會支部七十七、會員一萬八千〇三十四人。全人口は約八百萬なるをもつて青年會の事業は廣大なる地域におよべるを示す。住民は主に英國人の子孫にして新教徒なり然し近年多くの移住民と共に諸種の國語及宗教的信仰も輸入せられたり。青年會の移民部は單身來りし婦人等を安全に保護し且旅行者の友と連絡を保ちてかれらの旅行を保護せん事を力めをれり。學生青年會は四十五を有し其の會員二千四百六十六名を算す、これらは學生其の他の學校にあり。夏期修養會及學生郊外祈禱會は市邑及學生青年會の働きが精神的收穫をおさむるに大いに力あり東京女子青年會幹事ミス、カフマン及印度女子青年會幹事はこれより派遣せらる。○合衆國青年會は學生青年會七百二十一、會員六萬五千百二十九、市邑青年會二百四十五、會員二十七萬二千百三十人、郡部に十三、會員四千二百四十六人、合計九百七十九の支部を有し其の總會員數、三十四萬二千三百〇五人なり。青年會事業の一部に市内學生間、工女間、移住せる婦人間、アメリカ印度人間、黑人間、地方の若き婦人間等における青年會の働を專ら研究するものあり、尙此の人々と協力して右にのべたるものの宗教、教育、體育、經濟等の諸方面に盡瘁せる幹事あり、夏期修養會は十五ケ所にこれをひらく、昨年の出席者數は五千三百五十四人ありき、尙四人の委員ありて、經濟の方法、社會的道德、その他家庭における婦人の狀態等を視察研究せり、青年會は尙パナマ太平洋博覽會場に會館を有せり、日本女子青年會幹事ミス、マシウ。ミス、レーガン。ミス、ページ。ミス、エマーソン。ミス、アズグートは同地より派遣せらる。○南亞米利加は移住民幾萬に達す、アルゼンチンの首府ボエナスエヤレスには人口百萬九千人ありスペイン語を標準語とす。しかし他國の婦人多く商店員等なり。スペイン語の働き、一幹事の手により大に發展せり。

十一月十七日(水曜日)

全人類に對する生命。

吾々凡てがキリストの贖罪的死を知るに至らざればかれは其魂の煩勞を見て心たらふ事能はず。(イザヤ五十三ノ十一)事竟りぬ(ヨハネ十九ノ三十)と云ふ言葉は凡ての人類が救をうるに至れりの意なり。われ〱が主の使徒たる働きは全人類をして救に達せしむるにあり。彼の務は十字架上に終れり、我等が務は何時終らんや。

『御國をきたらせ給へ御心の天になる如く地にもならしめたまへ』この祈りに一層新らしき深き意味を加ふべし。

亞細亞

△印度。海峽殖民地。亞細亞土耳其。

感謝　印度に於ける青年會は青年會員が忠實にして且協力の念の增進せし事。青年會活動の範圍の擴張せられ且新らしき門戶のひらかれし事。○海峽殖民地に於ける青年會はシンガポールに會舘並びに假寄宿舍として用ひらるゝ建物の購入されし事。○ペナングにおける聖書の組の盛んになりし事。○亞細亞土耳其青年會は幹事及會員が危險の間にありて保護せられし事。學生青年會支部の增設され開戰後有用なる働をなすを得し事。

祈禱　印度に於ける青年會の十二月二十七日より一月四日まで開催さるべき大會のために（但四年に一回開かるゝもの）。協議さるべき議事の肝要なる事柄に對し神の智惠と指導のあたへられんため、尙且會員各自がキリストの要求に應じ從順ならんがため。海峽殖民地に於ける三青年會の支那人會員の內に指導者の立たんため。亞細亞土耳古青年會の働きの衰頹せざらん爲め。且戰後において尙新らしき力と勇氣に充てる働きの發芽せんため。

△支那

感謝　青年會の年每に盛大におもむきし事、敎育ある支那婦人が其の同胞を助くる方便たる女子青年會の働きに漸次興味を有し來りし事。

祈禱　青年會の目前によこたはれる好機會のための働人及資金の缺乏により逸せらるゝ事なからんため。

△日本

感謝　人民間に漸次健實なる靈的覺醒の盛んなりし事、○旅行者の友好友團等より社會貢獻の端緖を開きし事。○夏期修養會が若き日本婦人をして靈的生活に入らしめ、且これを深からしめし事。○學生青年會が益擴張せられ且つ有要なる働きをなせる事。

祈禱　東京青年會の尙要する金額の集められんため。○吾人の前にひらかれし新らしき門戶を極度まで善用し得んがため。○本部が來らん年において各支部の力とならんため。○全青年會が大いなる活動をなし、信者を奬勵し、未信者をキリストに導き偏く好き感化を及ぼさんため。○會員が會の格言に從ひて各方面に發達をとげんため。

註　亞細亞。○印度、ヒルマ、セイロンには基督敎徒其の大部を占め其の他はマホメト敎、佛敎徒等なり。漸次女子敎育の門戶ひらかれしと雖も尙早婚其の他の事故に因りこれを受くるもの少し。青年會數は百六十六、會員數九千、三十人以上の幹事（英米人）を有し盛なり。○支那、學生青年會支部數三十、會員一千人、市邑青年會三其の一つは上海にあり三百人の會員を有す、同青年會本部中央委員は六名の支那婦人（內四名は外國にて敎育を受けしもの）及五人の外國婦人をもつて組織さる。○日本雜誌『女子青年界』によりて明瞭なるを以てこゝに省略す。○亞細亞土耳其、マホメット敎徒其の勢力をしめ、基敎徒少數あり、敎育不振、婦人は概ね無學なり、青年會は敎會と連絡せり。

十一月十九日（金曜日）

『吾は復活なり生命なり』

かれは再び復活しその復活は力をあたふ若しわれら敵たりし時に其の子の死によりて神に和ぐことを得たらんには況して和を得たる今

はその生けるに頼りて救はるゝことを得ざらんや。（ローマ書五ノ十）

われら祈る時『爾もし我に居りまた我いひし言なんぢに居ば凡て願ふところ求に從ひて與へらるべし』てふ生けるキリストの約束を記憶すべし。

オーストレリヤ

感謝　夏期修養會が漸次其の價値を認めらるゝに至り出席者の增加せし事。〇特志働人及幹事養成所における將來の幹事の數の增加せし事。

祈禱　委員及幹事等に特に識別力及勇氣の與へられんため。〇偏くオーストレリヤに於て青年女子の缺乏をみたす進歩的運動のおこらんため。〇永久的本部事務所及幹事養成所のあたへられんため。

註　濠洲青年會は主に海岸地方の都會にあり、會員數約七千人あり婦人の多數は教師看護婦工女等をなし其の家計を助く、移住問題は濠洲において大切なるものにて青年會は歐洲より來る婦人保護事業計畫中なり。同本部より印度及支那に幹事を派遣せり。

十一月十九日（金曜日）

自己的生活とキリストにおける生活。

その凡ての人に代りて死しは生者なして以後おのがためならで已に代りて死て甦りし者のために世を過しめんとて也。（コリント後書五ノ十五）

若しわれに從はんと欲ふものは己をすてその十字架を負ひて我に從へとは主のガリラヤに於て第二逾越節の後十二使徒に（マタイ傳十〇三十七、三十八）カイザリヤピリピに於て第三逾越節の後弟子達に（マタイ傳十六〇二十一—二十八）ピリヤに於て第四逾越節の前に群集に對して（ルカ傳十四〇二十六—三十五）の三度宣ひし根本的眞理なり。

我漸次キリスト教の眞理を學び、且是は從來我國におけるいづれの宗教においても知り得ざりし高尙なる眞理を教ゆる哲學なる事を知るに至れり。然して基督教は教戒をあたふるのみならず其の實例を示し尙吾人をして其の先例に從ひ得る神の恩寵を確信せしむるものなる事を知る。

インド、ペンディタ、ラマバイ夫人

凡ての地における青年がキリストにより自由を得んためよろこびてキリストの奴隷とならんため祈るべし。

歐羅巴

△瑞西亞

感謝　ストックホルム、萬國青年會大會に出席せる代表者の向上鼓舞せられしを經驗せし事。

祈禱　目下困難に處するに全能の神に信賴するの空氣のあたへられんため。〇ロシヤ婦人達が益々深く神の國に興味を有するに至らんため。〇悲哀と憂慮にみたされたる今日助けと代請を要する凡ての人々に對する悔悟と犧牲と同情の精神の盛ならんため。

△イタリー。アテンス。

感謝　イタリーに於ける青年會の各支部に靈的生命の發達せる事。青年會が新らしき諸方面にその社交的道德的感化を及ぼせし事。〇アテンス年青會會員のキリスト教的生活が深刻に且堅固にせられし事。

祈禱　聖別されたる働人の增加せんため（イタリー）。〇アテンスの青年會が靈的生活の中心となり且光とならんため。尙有志働人のあ

たへられんため。

△マルタ。ブルゲリヤ。ポルトガル。和蘭。

感謝 マルタ青年會か其働人著しく減少せるに不拘ず尙活動せる事。ブルゲリヤ青年會がソヒヤの女學生のため寄宿舍を開始するをえし事。一年前に計畫中なりし女學生寄宿舍のため神の祝福を祈りし祈禱が今日答へられし事。〇過去一年間にポルトガル青年會事業の上にゆたかなる祝福の與へられし事。〇和蘭青年會、諸般の事業に神の援助と指導の十分にあたへられし事。

祈禱 傷病兵間に働ける多くのスルタ青年會會員がキリストの榮光をあらはし人々を神の國に導かんため。〇ブリゲリヤ青年會の事業の上たへず祝福あらんため寄宿舍の擴張され、多くの青年女子が其感化の下に來らんため。〇ポルトガルにおける働きのため總幹事の與へられんため、若き婦人が其結婚に對し高き理想を抱かんため〇和蘭國內の働き特に少女のため開始されし働きに精神的指導のあたへられんため。

△佛蘭西

感謝 フランス婦人が國家存亡の際奉仕と獻身のため用意周到なりし事。〇青年會が新らしき且困難なる義務に報ぜし事。

祈禱 フランス青年會が其姉妹のため盡瘁するに熱心なる多くの聖別されたる若き婦人のあたへられ、それがため事業の範圍を擴張せしめ目下の缺乏に應ずるを得んがため。〇從來現はれざりしフランスの宗教的及道德的生活の維持され且深甚ならんため。〇從來フランス青年會本部と連絡しをりしがこの數ケ月交通杜絕せるベルギー、北部及東部フランスにある青年會のため、傷病看護に盡瘁せる婦人のため。及かれらの愛の奉仕が祝福せられんため。〇幼年部、會館、其の他の働きが財政困難によつて阻害せらるゝ事なきため。

註 歐羅巴。ロシヤ。婦人の多くは農業に從事せしも近來は工場に入るもの多し、宗敎は主に舊敎なり、青年會は新敎徒の間にのみ活動す。〇マルタは目下傷病兵をもつて病院の有樣なり青年會員は少數なれども新らしき機會をえて活動せり。〇イタリー青年會數四十五、會員千三百名。主に婦人に關する問題を研究し、聖書傳道研究の組織盛大なり。〇ブリゲリヤ、青年會には未だ本部なく萬國青年會直接の下にあり、最近寄宿舍設立さる。〇ポルトガル、最近の革命により輿論に大なる變化をきたし傳道事業は困難となれり、青年會の事業はオポータ及リズボンに限られをれど働人の增加せし時は尙發展するを得。〇フランス、青年會數三百十會員一萬千三百七十五人、戰時にもかゝわらず青年會事業は各地に繼續さる。パリーその他の地にある青年會はすでに新らしき狀態に馴れ、以前と同じく有力なる扶助をあたふるを得。會員の多くは野戰病院看護婦となれり。〇ベルギー及東フランス青年會よりは何の報道に接せず。〇和蘭、青年會數三十五、會員一千六百五十、ジャバ及印度に支部を有す。アムステルダムに未婚勞働婦人のためホームあり。

十一月二十日(土曜日)

クリストに於ける生活の結果。

是故に人キリストにある時は新に造られたるなり舊きは去り新らしくなるなり。(コリント後書五〇十七)クリストは各自を新らしくなすのみならず新らしき社會制度をも創るを約束したまへり。(イザヤ三十五)

新らしき天と地を見且聖城なる新らしきエルサレムの備整ひ神の

所を出て天より降れるを期待するを得。(ヨハネ默示錄二十一)祈と共に神のなしたまへる奇しき業に感謝すべし。『主よ我らが信仰をまさせたまへ』

△白耳義

感謝　戰ひの開かれし際ベルギーにある青年會員の庇護せられし事
○往時事業の上に祝福の豐かなりし事。

祈禱　目下離散せる會員のため。○ブルッセルにありて日曜日午後に會合しつゝある英國人の會員のため(かれ等の集は今繼續されるや否や不明なり)。

△瑞典。諾威。丁抹

感謝　新らしき働の範圍がスエーデン青年會のためあたへられし事目下ノーウエー青年會活動のため正に好機會のあたへられし事。デンマーク女子青年會員が過去二年間に著しく增加せる事。○青年會働人養成の課程が今年九月にはじめられし事。

祈禱　スエーデンの青年女子のため働けるあまたの女子青年會が互ひに眞價を味ひ協力的活動の行はれんため。○ノーウエー學生間の働のため。○ノーウエー女子青年會事業の爲活動せる人々の上に靈聖の御力と助のあたへられんあめ。○デンマークの婦人の幸福のため始められし事業の上に神の祝福の一層ゆたかならんため、尙特に若き婦人間に靈的覺醒の起らんため。

△英吉利

感謝　英吉利における危機の今日、若き婦人間に靈の貸さの著しく覺知せられし事。○本部が開戰に際し多くの國籍をことにする青年女子のため避難所を提供せし事。

祈禱　戰ひにより必要とせられし婦人間の重要なる働が働人及資金の缺乏により制限されし事あらんため。十四歲及十八歲の少女間に開かれし大切なる働きのため。○傳道大會のため。國內の女子青年會が外國の地に於ける缺乏を明かにみとめんため。○インド、アフリカ、支那及日本には多くの者が遣せらるゝ用意のあらんため。○資金の彼れ等のため十分ならんため。

△フインランド。瑞西

フイランドと瑞西青年會よりは特に祈るべき題目を得ざれ共その事業のため祈るべし。

△獨逸。オーストリヤ。ハンガリー

右青年會よりは何等の求めにも接せずと雖もかくの如き恐るべき悲慘なる戰の中にあつて凡ての婦人と共に忍耐しつゝある我等が同胞會員のため特に祈るべし。

註　スエーデン青年會數四十四、會員四千六百人、ストックホルムに三のホームあり其他各地に多くの夏期ホームを有す。ノールエー青年會數三十七、會員三千八百四十九人、青年會の活動盛にて支部の多くは市內にあり敎師商店員女中等會員たり。○デンマーク青年會五百會員一萬八千三百人、年々發展の域に赴き各階級の婦人によき感化をあたへつゝあり。○大英洲及愛蘭青年會千四百三十七、會員九萬六千六百七十六、戰爭によりて生ぜし諸種の缺乏をみたさんため其の勢力を集中せり、政府と交涉の後避難者を青年會宿泊所に收容せり。支那、インド、アフリカ、日本等に三十四人の幹事を派遣せり。○フインランド、青年會數九十七、會員五千人、働きは重に地方の各地にありて十四歲より十七歲までの少女の間に女敎師によりて組織さる。○瑞西、青年會は創立後四十年にして熱心なる努力の歷史を有す、表立ちたる宗敎的活動

なこのまざるをもつて地方青年會は唯聖書研究及祈禱のため集まるのみ。〇獨逸、青年會は其數六千、會員二十五萬人なり、主婦の職務、體育、其他實用的の諸組合員のために設らる。オーストリヤ、維納における青年會は戰爭中と雖もなほ著しき活動をなしつゝあり。〇ハンガリー青年會は人種、宗教の混交せるため多くの困難に遭遇す。學生其の他少女のため聖書の組始めらる。

汝の御子の地上の母として婦人を選びたまひし全能の神よ、世界の婦人、及かれ等の間に汝の福音をのべ傳へんため働けるものゝ上に汝の恩寵ゆたかならん事を祈る、汝より離れてさまよえる婦人を祝しかれ等を汝の群につれかへり給へ、汝の婢なる婦人等の上な汝の御力をあたへ且同情、勇氣、才能、忠實謙遜及び愛をあたへたまへ、かれらが世界の光となりかれ等の事業が神の御國の設建を速かならしむるやう助けたまわん事を伏して願ひ奉るキリストによりてきゝ入れたまへ。

◉萬國女子青年會負擔金に就いて

ストックホルムの萬國青年會大會に於て計畫期待せられし新事業は戰爭のため殆んど實行不可能の有樣となれりといへ共他の新事業は續々開始せられ戰爭終結の曉には既に存在せる事業の發展及び新事業の開始のため好機會の多からん事明瞭なり。これ萬國青年會負擔金によりての助力が益必要となる所以なり。この負擔金は萬國の會員が此祈禱週に際して醵金し萬國本部の事務費幹事の俸給及機關雜誌其の他の出版費に充つるものにて、我々一人につき僅に四錢なり、これのみにては何の用をもなさゞるが如き小額なれ共、各國より集りて神これを祝福したもふ時は右の述べたる如く全世界の人類に幸福をあたふる資金となるものなり實に愉快の極ならずや

されば我々日本女子青年會員たるものこの世界的事業にあづかるを、無上の喜とし皆揮つて右負擔金の出捐あらん事を希ふものなり。

この負擔金は各支部にて御纏め下され、又支部なき地方の會員は本部へ郵券にて御送下さるも差支なし。

犧牲の花

博士　新渡戸稲造

只今の御報告によりて女子青年會館が何のために設立されたのであるかと云ふ事は既に明らかになつた事と思ひます。私は御覽の通りの男性であるからこの會館には關係がない、然し男子の青年會には可なり深い關係を持て居る。元來基督教は西洋で出來た宗派が其儘日本に入つて居る。即ち英國なり獨逸なりで出來たもので、日本で出來たものは一つもない。然し、幸にこの諸宗派の間に互に相反目する處がないのは嬉しい。始め私がこの會場に入つて來た時乾度皆さんの内、信者は少ないだらうと思つたが、讃美歌を聞いた時案に相違し大變これに馴れて居らるゝを見て、信者の多いのを嬉しく思つた。信者でも日本人には何故に宗派に入るべきかと云ふ事が判つて居ないだらうと思ふ。然るに宗派などは構はず、共に來て交り共に修養し、協力し、而して基督教のために盡さうと云ふのがこの青年會である。これがため私も青年會に關係を有して居るのであります。凡ての宗派を網羅して共に協力し、共に盡す主義の下にあるこの青年會が我國にあるのは基督教のため、及日本のため喜ぶべき事である。信者の人は其の所屬の教會で修養するから、斯る處に來てする必要はないかも知れぬ。然し未信者には、不馴な西洋風のペンキ塗の教會にはどうも入りにくい、友達でもあれば未しも、一人では到底出來難い。且何宗派と云ふ矢釜しい事或は面倒な儀式などがあれば尚入り難い。それに對し宗派などには少しも關せず

門戸の開いた入り易いかゝる青年會館があるのは眞に嬉しい事である。

かうして皆様を見て居れば誰一人として田舎者らしい顔をして居らるゝものはない、若しあるとすればこゝで誰一人の男子がある、私であらう、聲をさいても顔を見ても田舎漢で、私の東北訛のズー〳〵はよく證明してをる、そして皆さんにかう云ふ事を御話しする資格はないかもしれぬ。然し皆様とても皮一枚をはげば田舎者になるだらう。青年迄は田舎者であつたかも知れぬ、何も學生は東京の人とは限つて居ない、實際は大低全部田舎から出て來た人達である。田舎者と諸姉妹を云ふのは何も侮辱したのではない、却つて心から尊敬するのである、何故がと云へば昔から良妻賢母となへらるゝ人は主に田舎出の人であります、又多くの偉人は田舎から出て居る、かう云へば又江戸つ子、東京生れの人を侮辱した様であるかも知れない。然しかう云ふはなしがある、都會に住む英國の貴族に三代と血統が繼續した事がない、其理由は貴族は成可く優美にして婉纖な所謂柳腰月眉の婦人をめとつて妻となし、其れに出來た姫様は一層婉纖である、又この一層婉纖な姫様が緣付いて出來た姫様は尙いよ〳〵纖弱で遂に三四代の内に消えてなくなるのである、これは名高い話で、日本に於ても德川時代に江戸の町では三代とは續かないと云はれてをる。それ故東京生れの人を侮辱するわけではないが、江戸つ子とても威張る事は出來ない。

依つて私は主に田舎から來て居らるゝ方にお話するのであるが、女性は元來華やかで本性として一人で居る事が出來ない。男子でも女の腐れたのであるかと思はるゝやうなぐち〳〵した男があるがかう云ふ人は落付いて一人ではをられない。暇さへあらば淺草あたりをうろついて居る。男子は田舎においても志を立つる事が出來るが、女子は出來ない、田舎の女は早く凋落する、まさか早死をするのでもないが色艶が失せる。かの名高いウーランドと云ふ獨逸

の詩人は、女子は太陽に榮へ、男子は風雨にあいて強くなると歌つて居りますが、誠にこれは事實で太陽の美しく輝いて居る百花爛漫たる都にあつて始めて美しく榮へるのであります、そこで都の空にあこがれて上京するものが多い。先程報告せられた内の旅行者の友と云ふのは此田舎から何の目的もなく唯都に憧憬してフラリと上京する者を惡人の手におちぬ前に捕へるのである、つい先達ても十六七の田舎者が二人伊勢から金も持たずにやつて來て、廣い東京でも落ちて居る御飯もないものと見へて三日間も食事をせずにへト／＼になつて歩けもせず元着いたステーションに來て座つてをるのを、驛長と交渉して特別の取扱ひで歸國させた話しがあります。其故ウーランドの歌の如く、女性は華麗を好みます、皆様は學校に勉學のため來て居らるゝので、淺草邊を見物に來られたのではあるまい。私も明治五年に未だ八才の時學問に上京させられた、好きで來たわけではないが送られたのである、昔であるから汽車はない駕籠できて、土浦あたりから船にのり新橋に着いた。今でも記憶して居るが其の賑やかさ、人力車の多い事に驚いた、其當時人力車は今の自動車の様盛岡には兄が持て歸へつた一臺の人力車があるのみであるから、新橋に着いて澤山の人力車を見て實際驚いたのである。それから淺草の觀音、神田の祭、芝の神明などを見物に連て行かれて、流石に花のお江戸であると思つた、が然しどう云ふ譯だか淋しい、町を歩いても、道を聞いても誰一人知つて居る人がない、盛岡では可成り知られた家で、其の上私は腕白小僧なので殆で誰一人知らないものはなかつた、それに東京に來れば誰も知つてくれる者もなく、且日本流に、人を見れば泥棒と思へと云ふ觀念が頭に浸みこんで居るので凡ての人が疑はしい、女の様に淋しいから泣かうにも泣けない又泣く處もない、母は近くには居らず、今は世を去つた兄が青い顏をして居るばかりであるから、どうする事も出來ない、その内に私は駕籠にのつて來たので荷物はおくれて

來たが或る日それがついた。其の時の嬉しさはたとへやうもなかつた、荷物は數枚の着物の他に小供の事であるから玩具ばかりである　其の荷物の内に嘗つて私が盛岡で天神樣か何かの祭禮の時わづか許りの小遣を貰つて祭を見に行つたが、其時一つの小さい急須が目に付いた、餘り可愛のでそれをかつて來ていつも御茶をのむ時には必ずわざ〳〵これにさして呑んだ大變好きな其急須が入つた居た、私の國の方の方言では『めんこいきびしよ』と云ふが一錢五厘位で買つた眞にがらくたの樣な急須か而かも濕れ紙で幾重にも〳〵破れない樣につゝんで荷物の中に入れてあつたのを見て、あゝ母だと思つた、淋しい時には何んでも慰めになるものでしかも平常好んで居たものであるからこれを見た時母の眞心を思つて泣きたかつた、然し泣くのは女のする事で半人間だと思つて居た、且其の時は叔父の家に居た、叔父は大名の下屋敷を借りて住んで居たので決して狹くはなかつたが日本流の家であるから一人で思ふ樣に泣く事の出來る部屋もなかつた。田舎から來る人達は皆同じ〳〵この感じを受けられるであらう、身は大都會の中央にあるが自動車、華やかに裝つた婦人などが走馬燈のやうに影法師のやうに自分の前を過ぎる丈で沒交渉である。大勢の内にひとりぼつちと云ふ感じは誰でも感ずる處である。私はカーライルが一番好きである、カーライルの書の內には澤山の好い句があるが其の內一句が特に好きである、カーライルはスコットランドに生れロンドンに遊學した、ロンドンは八百萬の人口を有する都會で東京の幾倍かある、淺草のやうに賑かな公園も多く芝居でも音樂でもあるが、この繁華なロンドンの中央を歩きながらカーライルは "In the crowded street of London, I walked alone" 雜沓せるロンドン市中を唯一人で歩いたと云つて居る、これが田舎から出て來た人の感じであらう、母と呼び姉と呼び妹と呼びたいが、呼ぶ事の出來る人が何處にあらう、學校生活では三年四年と交ればまだしも、入學の當時では心を開いて

互ひに語り合ふ事は出來ない。四年たつても日本の習慣で、女性は心の底まで打ち明る事は出來ない、男子でも今日社會の缺陷か、眞面目な精神的の交りをなす事は出來ない、唯食い呑みし一所にあそぶ交りは出來るが、淋しい時、私も淋しいと共に胸襟を披いて話す事は出來ない。私は隨分多數の青年其他に接したが、眞に胸を披きうる友は少ない。諸姉妹とても同じであらう。今日の日本では唯一人で泣くに其の設備がなく場所がない、私が地方の女學校でいつも生徒の泣く所が寄宿舍にありますかと校長に問いて皆に驚かれるが、故里の母から手紙がきてたまらなく堪へかね泣く、それが人の前ではどうも虛僞になりやすい。天眞爛漫と云ふ事にはならない、矢張り人の居ない處で泣かねばならぬ、二枚屛風でもいゝ、着物をきかへる時、人の前でする等とは實に不體裁である、それで着更の時、一人でも手紙をよむなどのために必要である、そしてこの Alone と云ふ感じを强くせねばならぬ、此唯一人と云ふ事がなければ、人間は輕薄である。されば其缺陷を補ひて唯一人と云ふ感じを强くするのが會館のたてられた目的ではないかも知れぬが、兎も角これが爲便宜を與ふる樣に建てられて居るのが嬉しい、此處には一寸拜借と云つて泣き度い氣分の時入つて泣く場所がある、四階であるから大きな聲で泣いても聞える恐がない。

私は實際的の事を御話しするが、來いと云ふから行つて見たら、嫌やな人が居た故もう行かない、又行つたら火も何にもなく寒くて堪へられなかつた、それで直ぐに歸へつて火燵に入つた。もう行かない或は好きだから行けば、又來たかと皮肉を云つて氣にのらない、もう行くのは止めようなどと、神經質の御孃樣にはよくかう云ふ事がある、言葉を曲解して仲違いをする場合は澤山ある、或る名高い政治家の處に或る日友達が訪ねて來た、そして近頃はめつきり冷やかになりましたねと云つたが、其冷やかと云ふ事が氣に入らない、自分は冷やかではない相變

ず未だ盛に活動して居ると云つて怒つた話がある、男子にもかう云ふ事が度々あるか、僻んで物を聞き曲解すると云ふ事は女子には尚多い。未だ遭遇しない間は、そんな事と思ふが長い間には好く出くわすものであります。然し斯る曲解はやめて諸姉妹がこの會館にお出でになる事を希望します。

日本人の缺點として機械を利用しないで唯一つの装飾にして置く風がある、例へば切角水道を引いても其螺旋が破損して居るのを直しもしないで用ひないで置くと云つたやうな事がある。此の青年會館が建てられるのには五萬圓の費用が掛つて居るさうであるが、其五萬圓の金がこゝに寢してゐるのでは役に立たない、扨此五萬圓の金が如何にして出來たか中には一萬や二萬の金を一人で寄附した金持があるかもしれない、然し先程の報告によれば、多數の女學生がこの建物に寄附をしてをられると云ふ事である、學生と云ふものは元來金持ちではない、其學生が寄附をするのには辛いと云ふ感じがあつたに違いない、如何なる金滿家でも金があり餘つて、仕様がないと云ふ事はない、金があれば何か自分のものが買はれ、又自分の好きな事が出來る。三井、住友の様な金持ちは一萬圓位は何んでもないと云つても、一萬圓あれば自動車が買はれる。一つあつて又二つ買ふ事が出來る、それで此處に自分を制する犧牲がある。大小に拘らず寄附金は各々の犧牲である。されば此犧牲の集まりで出來た會館は唯轉がつて居るべき物でない、入つて來たらば直ちに柱でも板の間でも皆犧牲の塊であると云ふ念を强くしなければならない。これについて男子も同じであるが、女子には尚ほ犧牲の精神が必要である、人間に犧牲の精神があつてこそ萬物の靈長と云ふ事が出來るので、人生の目的は犧牲である。動物にも犧牲の精神はないでもないが、それは單に哺乳の時のみである。而して此哺乳の時期も人間の方が長い、又哺乳の時のみならず、親は子供の大きくなるまで否成長して後も犧牲を拂い、子は親に君は臣に臣は君にと互ひに

犧牲をして居る。特にこの犧牲を敎ゆるものは基督敎で、基督敎は Worship of sorrow 悲哀の禮拜と云はれ居る程である。神學は年々に變り、敎會の制度は改められるが基督の敎は變化しない、此れ即ち人生の目的なる犧牲であるに因る。この會館は犧牲の花である、それ故この會館に入つて來る時は犧牲者の罪を偲んで、一層よく利用して頂き度いと望むのであります。

（東京女子青年會會館新築落成披露會女學生招待會席上講演大要文責記者）

あめつちの主よ　みさかへのため
たてしみとのを　さきはひたまへ
あめつちともに　たゝへのこゑを
よろづよまでも　たからかにあげん

『理想』の婦人（二）

林靜太譯

詩人ペトラークと

ラウラ―『純潔朝露の滴りにも競はん』―

ダンテよりペトラークに移り、ビアトリスよりラウラに往くのは、其神秘的眼界と、其幽玄微妙なる散漫と、其の已むを得ざることゝ、其犧牲と熱愛との深さとを有てる、所謂理想的戀愛の物語より、轉じて人爲的の感覺と、及周圍の事情に對する不斷不滅の爭鬪とを有せる、於り智的にして於り『意識的』なる（更に極言せば、稍現實的の）愛情に移り往くの感がある。ダンテは己が靈魂を以て、ビアトリスを愛した、其崇拜の情は神壇に焚かるゝ香膏の如くであつた。然るにペトラークのラウラを愛するや、少しく思慮を伴ひ、且或る決然たる心情を以て、彼女を理想としたのを觀るのである。最初吾人は、詩

人は戀すると云ふことを必要とするのを感じた。即ち詩人には、何等か半宗教的崇敬と愛慕とを以て接する婦人の必要がある。實に戀すると云ふことは、中世に於ける詩人の素質中の、大部分に位して居たものであつた。如斯ことゝを語るのは稍奇異の感があるかも知れないが、併し私には如此思はれるのである、幷は、菫色の絲以て飾れる綠の衣を纏ひ其垂れ掛れる金髮を『愛の襞取れる』辮髮に捲き上げて、聖クララの修道院の祭壇の前に跪拜せるラウラを、彼が初めて見た時に、彼は恍惚として自失の姿であつた、而して其時ラウラの周圍には、他にも猶美はしい婦人の連れが居たであらう、何れが彼ペトラークの理想の少女であつたか、皆彼の理想のヒロインとして遜色は無かつたであらう。吾人はダンテに取りて他に一人のビアトリスの有つたことを想像することが出來ない、然れどもペトラークに對しては、他にも是れに代はるべきラウラの有つたことを想像し得るのである。

而も天成の總ゆる美質に豐かなる――實に在るが儘にして――暗示的なる。ラウラの肉的容姿こそはペトラークが不朽の短詩の題材となつたものである。而して彼女は尊嚴にされた。彼女は純潔で見るへ麗はしく、其溫柔しい眼は熙々として輝き、房々とした金髮は肩に波打たせて居る。其愼まやかなるさ容貌、人心に徹する涼して聲音、快活にして柔和なる襟度は、軈て吾が詩人には、『朝の露の滴りと淸く』("Chaste as the dewdrop of the morning.")感ぜられたのである。此美はしの生物に對するの想ひこそ、彼をして夢想裡に飛ばしめたのであつた。今やラウラはペトラークに取りて、又と得難き善となつた、又幷は疑も無く彼に對する最も力有る引着力となつた、即ち彼女の如きは、凡ての詩人の有たなければならない魅力と而して引着力である。斯て彼女は彼を高擧の頂點に導いた、遂には彼女に對する思想に依りて彼は、總ゆる現世の紛亂懊惱不滿を蹴破したのであるが。美の淑女がトルバドウル派の詩人

に女王であつた如く、而して彼女の爲に騎士の戰ふたるが如く、ラウラも亦熱烈なるペトラークが意中の人とはなつた。とは言へ、ダンテが幼少時より愛慕し、且生涯を通じて崇拜し、其戀人の死後も、幻象的巡禮に天界を辿りて、遂には神秘の胸奥に導き、所謂 *rosa mystica* に導き、神の御顏を仰がしめたる彼のビアトリスに對する、ダンテの詩魂より發せし崇拜の情と、是れとは全く相異れるものである。ラウラは逝いて再び歸らず、彼女の死はペトラークの生涯に大なる空虛をば殘した。彼女に與へられし彼の詩は一段の美と力とを加へた、吾人は其等の詩中に宿せる此詩人の、痛切屢々眞に逼れる實在の感念に接するのである。斯てトルバドウルなりし彼は玆に始めて、死と生との雜念工夫より進んで詩人とはなつた。

扨ラウラは、プロヴエンスの貴族なる。アウヂベルトドノヴエスの娘で、千三百八年アンジヨウに呱々の聲を擧げ、千三百二十五年ヒユー●ド●サアドに嫁して、十人の子女を設けた。吾人は是れより彼自身の短詩を通じて、聊かペトラークの熱烈なるものに就いて述べて見ようと思ふ。彼が最初彼女と相見えたのは、千三百二十七年四月六日の聖金曜日であつた、即ち恰も基督の受難週に當つて居るので、此日は太陽さへも主を哀むの餘其光を沒したことを歌ひ且斯る聖日にしても彼は心に傷を負ふに至つたことを怨じて居る。當時ラウラは祈禱に跪いて居たが其瞬間より彼は戀を覺えた、此美はしき婦人を思ひ焦るゝの身とはなつた、後彼は彼女に紹介されたが、嫉妬深き夫に阻まれて、其交りは最とも疎く保たれた、彼は僅かに、或は友人の家に於て、或は森の中にて催さるゝ會合に於て、彼女と相見るに過ぎなかつたのである。一日彼は淸流に小舟を泛べて遊べる婦人連を見たが、中にラウラも交つて居た、鷄群の一鶴とも謂つべき彼女は、彼の至る處、其美と、柔和と、輕快なる歩調と、其美しい聲音の魅力とに由り一人群を拔いて、『天の使の聖けき』（'Angelical divi-

ne") ものと見られたのである。

ラウラは、詩人の熱情熱愛をば承知して居た。時には溫柔しく慇懃に彼女は其熱情を受けたのであるが、決して讃むべき友誼と云ふ境界以上に出づることを許さなかつたのである。此點に關しては、凡てのペトラーク傳記者の最も能く一致契合して居るところなのである。さは云へラウラが全く、彼に對して無關心であつたとは言へない多くの事實がある。即ち彼女が餘りに愼まやかに默せるが爲、彼の心を挫くと見る時は、或は呻きの上に、或は容貌の上に、再び彼の心情をば素の位置に復さしめたのである。然るにペトラークの不規則で鬱陶しげなる風姿は、屢々自己さへ氣着く程であつたから、ラウラは猶更素面で彼と會ふを厭ひ、彼の近寄らんとする時は、靜かに退いて其面に覆面を着け、以て是れと相會ふたと云ふことである。『日向に於ても陰に於ても』彼が眼に其衷情を表はすに至つて後と云ふもの、覆面せざる彼女を見しこと無しと彼は怨じて居る。

"O cruel veil, that whether heat
Or cold be felt, art doom'd to prove
Fatal to me, shadowing the lights I love!"

(Nott's translation.)

『噫慘酷き面帕よ、暑さ寒さを問はず、
幵は愛する光を隱す陰、
吾には苦き運命にぞある。』

彼は夢寐にもラウラのことを忘れ得なかつた。即ち彼の言ふ所に據れば、彼は其攻鬪を打拂はうとしたのであるが、到底欲情は彼に附纏ふて離れなかつた。(至つて普流の言ひ方ではあるが、所謂煩惱の犬逐へども去らず菩提の鹿招けども來らずとは、即ち是れを言ふのであらう。)斯て今は唯其心を魅する女の住まへる地を去らうとして、漫歩の中、不圖もラウラの面帕を洗へる田舍女を見たが、「時は炎暑猛烈の交であつたが、彼は幵を見て覺えずも、寒氣を催ふし打慄ふた」のである。アヴヰグノンを去つてイタリーに赴いたが、是にも亦ラウラの想ひは身

に纏はり來つた。其時チキルヘネ海の左岸に一本の月桂樹を見たが、不思議にも其樹は彼に愛する其人と見えた、即ち彼の *giovane donna*（妙齢の淑女）と見えたので。彼は幵を目蒐けて飛ぶが如くに走り行き其枝に手を掛けたが、其儘我を失ふて樹下を流るゝ小川に轉び落ち、殆んど『死人の如く』になつたと云ふ。

凡そ如何なる言語を以てするとも述べることの出來ないのは彼の戀愛である。其後ラウラは非常に激烈なる熱病の結果、一種の惡疫に罹つて呻吟して居た、此時ペトラークは星を仰ぎ瞻て聲高く、彼女の神魂天に登らば、爲に星も光を蝕はん、と叫ぶのであつた。而して彼女が去つた時空は暗くなり、彼女が歸り來つて其 *dolce riso*（美しい聲）の柔しいのが再び開かれる時、凡ての凶惡なる勢力は消ゆるのである。夢に彼女は彼に現はれ、愛の星の燃ゆるところ彼女は未だ地上に在りて、彼女の眼と彼の眼とは、互に『運命として離れ』難なきものであると言ふのを聞いた。

約八箇月漂浪の後、彼は歸り來つてヴアウクルースに居を卜した。此仙境此魔境、寂として太古の面影を存し、欝蒼として幽邃なる森林は諸所に點在し綠山高く圍繞する邊、ペトラークの名と共に有名なる噴泉より湧き出づる、彼のソールグの流は淸く緩かに灌いで居る、此地は、彼の詩文の反響と共に常に人々の集まる所であつて、又此處に彼が苦惱の記憶を辿ることが出來る。斯る佳境に彼は一人の色黑き婢を侍女として、讀書と思索に耽りつゝ靜養したのであつた、然る程に最早健全體となつたと自信すると共に、ラウラの住まへるアヴヰグノンを訪れんと此仙境を立出でたのであるが、市に近寄ると共に忽ち恐怖の念は胸中に漲り來つたので、彼女と相會ふことを躊躇ひ、遂には又山間の隱棲指して歸り來つた。其後竟に意を決して、入つてラウラに會ふたのである。一目見るよりラウラは、『ペトラークの君よ、卿の妾を愛し給ふこと既に久矣、最早御斷念

遊ばされしならん』と私語く、かと思へば、再び恐ろしき愛の力は彼が上に加はつた。彼は直ちに其言葉を斥け『如何でか吾御身を愛するに倦むべき』と短詩に彼は叫んで居る、其詩の美なることは、到底如何なる飜釋と雖も企及すべからざるところであるイタリー詩文の花とも稱せらるべきペトラークが、悶々の情を寫せる、强烈なる戀を叙せる、彼特有の清澄にして音樂的なる名詩は、如何にすればとて、其眞意を損ふこと無く、機微に亘る調和を失ふこと無く、是れを他の國語に移し得られんやである。

彼の戀は年經るが儘に深甚となつた、風も水も凡ては、彼に彼女を傳ふるものであつた。

"So, happy gale, and with my Laura dwell!
So, happy stream, and to my Laura tell
What envied joys in thy clear crystal flow."

(Anon's translation.)

『往け、幸ある風よ、往て吾がラウラと共に住め、
往け、幸ある流れ、往て吾がラウラに告げよ、
爾が澄める水晶の流れにうつる妬くも嬉しきを。』（未完）

聖書研究

以賽亞書

牧師 横田貞治

第二回 以賽亞書六章講解

グレーと云ふ人はイザヤの人物と其豫言的觀念を知らんには六章の記錄より出發し而して又諸點に於て此章に歸着すべきであると云ふ樣な意味の事を言つて居る。確かに六章は預言の鍵である、殊に預言者にとつては神が凡ての出發點である以上、此六章に於けるイザヤの見神の實驗が最大切なる事は論を待たない、此章を忠實に讀み且つ硏究する所以又實に此處に存するのである。

此章の實驗はウジア王の死にたる年であるから七百四十！七百卅六年の間であるが兎も角イザヤの預言の爲し始めで最も早きものである事は論を待たな

い、然らば何故に一章になくして六章にあるか、其處で之れは此の早き經驗をイザヤが後に書いたのであらうと解釋する一度神の幻像を見て立ちしイザヤが人生萬事靑年の理想に共はず失望すべき壯體の益々目前に明かにせらるゝに及んでイザヤ此處に再び當初の幻象を回想し自ら勇氣慰めを得ると共に又其幻象の意味實に深長なる事を更に痛切に感じて此處に筆下せしものとす、一寸面白い、我等にもかゝる經驗はある、神の召を受けてクリスチヤンになる或は傳道者になる。其時は夢中の樣であつたが年月を經るに從つて神の攝理の如何に我が上にありしかを思ふて意味深きものと感ずる、或は其當時の事を思ひて失望すべき今の狀態に於て勵を感ずると思ふ樣な事はあるのだ、かく解釋して此の六章の此處にあるゆゑに面白い所も感ずるのではあるが、少しく作り過ぎし感がある、寧ろ之は當初イザヤが七章より九章七節に亘る預言集の序文として附加へられたものなりしを、其處で此六章より九章の七節までが極く最初のイザヤ書の本體である、序であるからイザヤ書第一章の所立の順序を云へば此のイザヤ書の最初の本體に二章より五章の預言集の一卷がスリヤ、エフライム連合軍來襲以前の預言と云ふので前に附足されたらしい、之が多分六章の前に其の預言がある理由である。然るに此處に又連合軍侵入以前の預言にて九章八十章四に渡る斷片があるが之れは北イマニエルに禍の下る預言と云ふので多分七章—九章七(スリヤ、エフライム連合軍エルサレムに攻め來りし時になせし預言と記號)の後に附足された。而して次にユダとイスラエルに禍の道具となりて來りしアッスリヤの爲めに預言なかるべからずと言ふので十章五—三十四の預言はイザヤの第四期に屬さるゝものなれと之に附加ふる事となり同時に十一章一—十のメシヤ的預言之もイザヤの後期に屬するものではあるが一所にせらるゝに至りしなり、かく一章—十一章十迄は大體斯の如き順序で編輯されたるが其總論として一章の序に附けた之は多分イザヤの

死後間もなくなされたものであらふ、斯の如き有様で第一集は暫く存在して居つたが囚虜後時代に於て結果として十一章十一—十二章までが附加せられて此處に第一章の預言集を見るに至つたのである、事態斯の如きであるから六章の前に二—五章の預言あつても必ずしも不可思議にあらず又六章を後者の後に書かれたとなさねばならぬ理由なきなり。

此六章三つに區別し(一)神の異象(一—四)(二)神の召(五—八)(三)任命(九—十三)とす。

(一)神の異象(一—四)

一、ウジヤ王の死にたる年我高くあがれる御座にエホバの座し給ふを見しに其の衣裾は殿にみちたり。

○此ウジア王に關しては列王より歷代志略下廿六章の方が委しい、彼は其父アマジヤの如くエホバの美を觀たまふ事を行ひしのみならず仲々英邁の君であつて其名つひに埃及の入口までも廣まつたもある又大にエルサレムの武備を堅固にしたと云ふ、然し其人は晩年に至つて癩病になつたと言ふ其理由は歷代志略記者は彼が盛なるに及びて其心高ぶり神聖を汚がすが如き行爲をなせしにあると稱して居る、盛なる王も神の前には己を低くせざるべからざるなり、此處にもイザヤからウジヤ王の死にたる年と殊更に前提を置いて而して後に我高くあがれる御座にエホバの座し給ふを見る。決して之は無意味ではない樣である、此世の王は如何に盛にして強くともつひに死なねばならぬ、然かも神の御くらはいつも高かし、人は如何に英雄なりといへどつひに失望である。神こそ永遠に信賴し得べきものである、或は人力のつくる所に神の榮光のいやが上に高きを見ると言ふが如き意味を有せしと見て差支なかるべきか、

○殿　手にて造りし宮にあらずして天の住居であると取るものがあるが之は寧ろ實際エルサレムの宮の外庭に於てイザヤが見し事實と取るべし。

○イザヤは神の面を見たにもあらず其形の如何なるかを目にしたのでもない、其等に對して詳しき

說明をなすを得ない、只神がいや高く王座に座せる其崇高、威風に打たれたのである、彼の尊みしエルサレムの宮も彼の眼中より消え去り、只神の衣裾に低く目を降するに於て初めて殿に思ひ至りしのみ。

二、セラビム、其上にたつ各々六の翼あり其二を以て面を蓋ひ其二をもて足をおほひ其二つを以て飛翔けり。

〇エホバに使ふる此のセラビムは六の翼ありて二つはエホバの莊嚴なる光を避くる爲めに面を蓋ひ二つは其足乃ち裸をエホバの前に蓋ひ、二つはいつもエホバの命に從つて行動なし得る樣靜かに羽ばたきしつつあり、此のセラビムについて興味ある二つの問題がある。

(一)其形は如何なるものであつたらう、一寸わからない、セラビムと言ふ語は民數二十一章六に荒野にてイスラエル人を惱ませし火の蛇である、同語の單數は民數二十一章八、申命記八章十五、イザヤ十六章廿九、三十章六にもあるが皆蛇の事である、然かしイザヤのセラビムは何んだか蛇の樣ではない、羽もあれば、面もあれば、足もあれば、口もきく、エゼキエルのケルビム半人半獸の生物である、其と類似して居る、此セラビムも半人半獸の生物である。

(二)幾つ居つたか、之もわからない、二つであらうと言ふ人もある、初代の基督者の中には二人であつて一人は子、一人は聖靈であると言ふ、或は又一人は舊約聖書、一人は新約聖書であると言ふものもあつたが、甚だ受取り難い。

兎に角此のセラビムはイザヤに取りて神の崇高、莊嚴なる質を强めて居る、此等超人的天使も猶ほ且つ其目其體を蓋ふ、況んや、人間に於てをや、

三、互に呼いひけるは、聖なるかな〳〵〳〵萬軍のエホバ、其榮光は全地にみつ。

〇聖なる哉を三度經過せり、昔は之は三位一體を示すのであると言ふが、信ずべくもあらず、寧ろ

之は聖を強調せしにて絶對に聖きを言ふ。
○萬軍のエホバ、萬軍とは只イスラエルの軍勢を言ふたのではない、天にある軍も天使も皆萬軍である。萬軍のエホバとは、故に天地最高の支配者を言ふ。
○其榮光々々神の內的性格なる聖の外に顯の少しを言ふ、全地は實に此の聖なる神の啓示（レベレーション）である。
四、斯よばる者の聲によりて閾のもとゐ搖動き家の中に煙みちたり。
○神の榮光も東の間にしてイザヤ此の恐るべき神を見て氣絕せんばかりに外庭に倒れしが、忽ち閾のもとに搖動きて煙、宮にみつ。
○煙は榮光の反對ととれば神の怒を示す、詩十八章七、八、及七十四章、然かしながら或はヨハネ默示錄十五章八、によりて煙は榮光より出づるものにて神の顯現に共ふ雲の如きもの寧ろ神の神聖犯かすべからざるを示したものか（エゼキエル十章四、參照）
（二）神の召（五—八）
五、この時我いへり、禍なる哉、我ほろびなん、我はけがれたる唇の民のなかにすみて穢れたる唇の者なるに我眼萬軍のエホバにまします王を見まつればなりと。
○禍なる哉は哀まざるを得ざる二つの理由がある(一)己れ穢れたるものにて穢れたる民の中にあると言ふ事(二)萬軍の主エホバを見しと云ふ事。エホバを見ば死ぬると言ふ事は舊約に於て屢々見る所なり出埃十九章二十一、三十三章二十、士師十三章二十二、然かしながらイザヤに於て弱き人間が神の前に立つを得ずして、哀いたと云ふよりも、罪の人間が神の前に立ちて禍を感ぜしなり、穢は必ずしも儀式上の汚にあらず、道德上の汚れの罪惡を言ふ。
○穢れたる口唇と云ふ云々、唇は人間の內なる精神を外に發露する大切の具なり、實に之によりて

エホバをも讃美し能ふ、ゼバニア三章九に神を禮拜するには聖き口唇を持たざるべからずとあり、同時に此の口は人間の弱點を顯はし易き所なり、「口を入るもの人を汚がすにあらずして口より出づるもの人を汚がす」とイエスは言はれた。稚各三章二にも「人もの言に愆なくは、是全人にして全體に轡を繋き得るなり」とあり、イザヤは此口脣を以て身全體の罪けがれを代表せしめたるなり。

○けがれたる口唇の民の中……イザヤは只に自己の罪を思ひしのみならずして直ちに民全體の罪をも身に感ぜしなり、預言者は、社會を離れたる個人を考ふるを得ず、己れ社會を代表し社會は己を育つ密接の關係離すべからざるものなり、故に己が使命の何處〳〵までも此の社會國家の上にあるの深き感念を有すなり。

かく神を見てイザヤは罪を感ずる徒らなる樂天家ではない、只無我となりし神秘家ではない、痛切に自己と社會の罪惡を感ず、之れ實に永遠に神に信なるものの心である。

六、爰にかのセラピムのひとり鉗をもて壇の上よりとりたる熱石を手にたづさへて我にとび來りて、わが口に觸れて言いけるは視よ、この火汝の唇に觸れたれば既に汝の惡はのぞかれ、汝の罪はきよめられたりと。

○爐のなかにある熱き石の片にて用に應じて其處より取出だし乳を溫め、湯をわかし、菓子を燒きたりなどなす。

○火は聖めの記號なる事は民數三十一章二十三マウキ三章二。

○イザヤ預言者としての召を受くる前に先づ罪の深さを知ざるべからず、されど如何にして潔められたかと見るに儀式としては甚だ簡單なり、彼は手に獻ぐべき何物もない、口に唱ふべき美しき語もない、只ひたすら己の罪と社會國家の罪惡を思ひて身動きもせず倒れつつありし時にセラピムの

ひとり鉗を以て壇の上より熱石をたづさへて飛び來りイザヤの口唇に觸れたるなり、まことに簡單なる手續であると共に全然神より來りしなりイザヤとしては何事も己の罪を潔むべき力はない、もしありとすれば一邊の悔ひし心である詩五十一章十五『主よわが口唇を開きたまへ、然ばわが口なんぢの頌美をあらはさん、なんぢは祭物をこのみたまはず、もし然らずば我これをさゝげん、なんぢ又燔祭をも悦びたまはず神のもとめ給ふ祭物はくだけたる靈魂なり神よ汝は碎けたる悔し心を藐しめたまふまじ』蓋しイザヤは此時の經驗を歌つて居ると云ふても差支へあるまい。彼の救は全然神より來りしに自己の行によるのではない、而して悔ひし碎けたる心の聖めの火は下り來つたのである、かくして次に神の言に耳を傾け己の使命を感ずるに至れりよつて知る彼の預言者として立ち社會を叱咤するに至りしは決して高慢なる自負心によるにあらずして謙遜なる信賴によりしを見る。

八、我又ヱホバの聲を聞く曰くわれ誰をかつかはさん誰か我等の爲めに往べきかとその時我いひけるはわれ此にあり我をつかはし給へ。

○罪潔められて神の聲を聞く『われ誰をつかはさん誰か我等の爲めに往くべきか』……之れは必ずしもイザヤに汝行けよと命じ給ひしにあらず一般的の問である誰れにても其れに答ふるもよし答へざるもよし之れを取ると取らざるは人間の方に自由の撰擇あり　宗教の事傳道の事神の聲はかくの如き場合が多い、己れに命じたのでなく人に命じた樣に聞ゆる場合もある、されどかかる時に決然立つて『われ此處にあり我をつかはし給へ』とイザヤは言つた、神の聲を巳に受とめたるなり此處に彼の生涯が新らしき意味を見出だすに至つたのである、自然に神の默示は漲つて居るされど痛切に神の攝理を感ずるものは己れに此の神の默示を受け入るるものであらう、キリストの十字架は高

人の救の爲めであると云ふ、されど我に其十字架の救の力を受入れずば無意義である、又虐僞の如く感ぜらるる、夫我等の家庭の狀態國家社會の有樣は確かに何ものかの爲に爲すべく我等に要求し居るのであらう、されど我等が『われ此處にあり我をつかはし給へ』と云ふを得て初めて我等の此社會に此の家庭に置かれし大なる意味を見出だし又自己の使命をも感ずるなり神の言には謎の樣な所がある我等が之を己と受とめて其意味を見出だす時に眞の價値を知るなり。

○又彼は潔められて只其れ丈で滿足しなかつた、使ひ樣を考へた、恰かもシモンペテロの岳母が熱病にて臥し居りし時イエスに癒され直ちに起きて彼等に供事へた樣なものである。何にか御用に立ちたいと云ふのが此の恩惠を受けたる後の自然に湧出する考ならずやキリスト教は恩惠を受くるの宗教であるが次に又使ふるの宗教である。

○次にイザヤが此の召を何等孤疑せずして自ら進んで取つたと云ふ所に大に自信して居る所がある樣であるが、元より彼に自信すべき程の才能はありしならんも其自信の來りし所は神を信ぜし所にありしなり、神を信頼する所より其聲を聞きて立つは己を信ずるを得しなり。

『われ此處にあり我をつかはし給へ』のイザヤの言は味へば味ふ程深き所のものがある。

(三)任命(九—十三)

九、エホバいひたまはく往てこの民にかくの如く告げよ汝等聞きてきけよ然れどさとらざるべし見て見よ然れどしらざるべし。

○きゝてきゝ或は見て見ると繰返せしは動詞の意を強めしなりかくて此民は到底さとりなき民なり

十、なんぢ此民の心を鈍くし其耳をものうくし其眼を蓋へ、恐らくは彼等其眼にて見其耳にてきゝ其心にてさとり翻りて醫さるゝ事あらん。

○翻へるとは心を向きなほす回心、悔改めの義なり此處の命令は彼等が眼にて見耳にてきゝ心にて

さとり悔改めて醫さるゝ事なからん爲めに民の心を鈍くせよと云ふので之は甚だしき命令である。九節のは、民にさとりなき事を、告知らすなればまだしもとして十節のは悔改めざらん爲めに、さとりなきものとせよ、と云ふのである何んだか神の愛の精神に叛いて居る樣である然し其れは只之れを皮想的に解釋するからである此命令の中に少なくとも二つの事が含まれて居ると思ふ(一)預言者の言は決して直ちに受け入れられぬ、のみならず之れ返つて民に反抗を起こさせ其心を頑にせしむる、青年イザヤ決して己が理想を直ちに民にさとらしむるを得ると思ふ勿れ、返つて神の言を借らるる事によつて民の心は益々鈍くせらるゝが如く感ぜらるゝなり、而して是人生一面の事實なり此言は新約にも引照されて居るは如何に其大切なるかを諸る馬太十三章十四、可四十章十二、路八〇十章約十二〇四十章、徒廿八〇廿六章、羅十一章八、イエスもポーロも此の經驗を有するなり

約三章十九『罪の定る所の光世に來りしに人その行の惡に因て光を愛せず反つて暗を愛すれば也』基督教はよいから誰れも受け入ると思つては間違である反つて受入れぬ、イザヤ今や神の言を語るに當つて此失望すべき狀態に遭遇するの覺悟を有するを要す是れ此の命令の一つの意味であらうと思ふ、(二)預言者の言は民の心を喜ばし彼等に媚ぶるが如きものにてあるべからず、人の歡心、喝采を得んが其預言の動機ではない、只神の眞理を語るのみ故に眞の預言者は多く禍の預言者とせられて居る、民衆に歡迎せられざる又其所なるなり、イザヤに其の覺悟なかるべからず、

以上によつて此處神の言一面冷酷の如しといへど深い意味ある事を感ずるなりかくイザヤは最初其民に對して絶望の預言者であつた、彼の民は彼の前に益々高き石垣を築いて彼をして一歩も其中に踏み入らざらしめんとして居る、されど神は彼に預言を放擲せよと命じたのではない、失望すべき

狀態であるが行きて預言せよと云つたのである此處に一つの光明は閃き初めるのである然かし其れは後の事である。

十一、こゝに我いひけるは主よいつまで如此あらんか、

望みなき傳道は之をなすを得ざるよりしてのみかく叫びしのではないらしい彼には其國民を愛するの深き情がある所謂ポーロが『若わが兄弟わが骨肉の爲めにならんには或はキリストより離れ沈淪に至らんも亦わが願なり』と云ふ愛國の情があつたのであらう故に絶望は到底受入るゝを得ざる所其國民の救はれんとの懇切なるものあり『主よいつまで如此あらんか』心の歎を訴へたのであらう

されど主の言は依然として絶望である。

主こたへたまはく、邑はあれすたれて住むものなく家に人なく邦ことごとく荒地となり十二、人々エホバに遠方まで移され廢りたるところ國中におほくならん時まで如此あるべし。

どこまでも國家の滅亡である。

十三、その中に十分の一殘る者あれとも此もまた呑つくさん。

十分の二殘こると言ふ暗示はアモス五章三より得たるものか、兎角刑罰剩す所なきを言ふ、は之れで終つて居るのである、或人は其れが正しいと云ふ「されど」以下は後の人が慰めの爲めに附加へたのであると云ふ併しながら『されど』以下がイザヤ預言の大切なる觀念の一つである其長子をシャルヤシュブ(殘れる者勝たん)と名けし所以のものは實に此處にある。十章十八、九、待ち望みつゝありしイザヤに暗中一閃の光明を見だした。されど聖裔のこりてこの地の根となるべし彼のテレビント又は橿樹が切らるゝことありとも其根のこるが如し。

○テレビントと云ふ木は實物を見ざる故よく分らず、高くて十五六尺位其葉に針の如き細長き七つの葉となり初めは赤色にて漸々と青黑くなる。パレスチナにては常盤木にあらざるも南國にては常に青しといふ。

イスラエルは全滅はしない將來に希望はあるのである此希望は年と共に大にせられて遂に大切なるメシヤ觀を現出するのあでる。

花の籠

少年少女お祈り

小供諸君は、電報や電話をよく御存じで御座いませう。私達は、今何千里もはなれた所で、戰爭をして居る人達の樣子を、毎日電話で知ることが出來ますし、又、對座つてお話しする樣に、遠方の親類と電話でお話しすることも出來ます。皆さんは、昨日ベルギーの子供達が戰爭の爲に、大變可哀相な目に逢つたと云ふことを、電信でもう翌日は知つて、着物やお金や色々のものを、その子供達に、私達が集めたことを御存じでせう。

皆さんは、もつと小さかつた時、空氣は何でもないもの――たゞ空つぽなもの、と思つていらしつたことを憶えて居らつしやいますか。それは皆さんが、見たり觸つたりなさる事が、御出來にならなかつたからで御座います。けれど、今皆さんは、空氣は木や鐵と丁度同じに、實體であると云ふことを知つていらつしやいます。然して又、空氣が、音を運ぶ大した力を持つて居るために、私共はお互にお話をする事が出來るのだと云ふ事も、知つていらつしやいます。

音は震動に運ばれます。空氣に於ける震動は、水に於ける波のやうなもの二人の少年の間の、繩を一人が搖るとき繩を傳はつてゆくうねりの樣なもので御座います。皆さんがお話しになりますとき、皆さんの聲を出す機關は、皆さんの唇に觸れた空氣を搖ります。そして波紋は小さな波の樣に、聽いて居る人の耳に傳はつてゆきます。かうして、その人は皆さんの仰有ることをきくので御座います。

これは疾くから、人々に知られて居りましたが、近頃、空氣の樣に震動し、空氣の樣に見えない、驚く可きものが、もう一つあることを、皆さんは御きゝになりましたでせう。それは電氣で御座います。

私達は、言葉を送つたり、光にしたり、車を動かしたり、隨分いろ／＼の事に電氣を用ひますけれど

も、電氣が實際どんなものだか、殆ど知つては居りません。電氣は一つには子供の様に、旅行好きで御座います。電氣はいつも針金の上で旅を致します、皆さんが、電信柱の上に御覧になる様に。けれ共、近頃は、その針金さへ要らないことを見付けました皆さんのお家にある電話も、丁度これで御座います、電話口に入る音が、電話とお友達になつて、一緒に旅をして行くので御座います。皆さんが電話をお使ひになります時、皆さんは、空氣に於ける代りに、電氣の震動を、送り出していらつしやるので御座います。然して此等の震動、即ち、小さな波は、聽いて居る人に、皆さんの聲をはこぶので御座います。

何百里もはなれて居ながら、お互に話が出來るとは、何と大したことでは御座いませんか、けれ共、もつと驚くことは、聲と電氣とをつかつて、お互の心が話し合ふことです。云ふのも心、きくのも心なのですから。

かういふ風に、私共の思ひを、お友達の心に運ばす様に、空氣を拵えて下さつた神様は、御自分の愛に滿ちたお心を、私達に閉ぢて了つていらつしやると信じられませうか、私共が叫ぶ時に、聽いて下さらないと思へませうか。たしかにそんな事は御座いません。イエス様は、神様は私達に聞いて下さつて私共を助けることをお喜こびになり、神様にお願ひすることを、おのぞみになると、仰有いました。

世の中には、解らない事が澤山御座います。それでも、話を運ぶ電流は解りませんでも、私達はお話が出來ます様に、解らない乍ら、澤山の物を使ふことを私達は知つて居ります。

世の中のいろ〳〵の解らないものゝ後に、皆さんの心と神様の御心とが御座います。皆さんは、神様に願ひたい時に、申上げれば、神様はお答へなさつて下さいます。然して是れが、お祈りなので御座います。（松榮譯）

戀しき筵

堀川勘吾

一、おもへば戀しかのむしろ
あさな／＼にひざまづき
神にいのりしはゝと子の
膝のあとこそこひしけれ

二、學びのもんにいでゝ行く
あさな／＼にふたりして
ふたとせあまり祈りてし
膝のあとこそこひしけれ

三、その眞心の甲斐ありて
幼なごゝろのいさましく
身もすこやかに生ひ立て
學びのわざもすぐれけり

四、みやこにありて今もなほ
あさな／＼におもひ出で
神戸のかたに打ちむかひ
かみのめぐみを拜しつゝ

（十月號「破れし筵」參照長女は長男の誤）

和歌

辻村靖子

白雨

無花菓のひろい搖りてふる雨に
　いたやの上にさきり舞ひたつ

早秋

とこしへの夏ぞと思ひしおこたりの
　ゆめおどろかす萩の上かぜ

なべてよの人にしられぬ白露の
　物おもふ袖にまづやどりける

初秋

朝づく日にほふとみえし初秋の
　そらはしたなくふる小雨かな

我かどの山栗の木に鳴く鳥の
　こゑきくときぞ秋のこゝちする

秋の夜のいなづまらしてわせ稲の
　　ほの上をとぶは燕なりけり

菊

庭の面の井桁にしもゝおきそめて
　　さむきあしたにきくのかぞする

游子ふるさとを出づる心を

をのこはれ顧みせずていでしかと
　　あやしくその夜ねられざりける

病める母の心を

いくくすりしいて飲みつる思ひ子の
　　よにたゝむ日を言まくほしさに

○

鏡　　寺西勘助

朝夕にむかふ心のよしあしも
　　うつしわくらむ高すみの鏡

述懐

ゆく水の清き汀にわれたゝむ
　　月すみわたる朝あきの夕

見・聞・想

所感

盛岡　岡山はな

或日、私が小さい坂道を下つて居りますと、下から澤山な荷物を積んだ車を引いて上つて來る一人の老人にあひました。どうしたのかと見る間にだん〱車と共に後にさがつて行きまして、片方の車輪は道の側のぬかるみに落ち込んで仕舞ひました。そして大きな玉のやうな汗を流し乍ら引き上げやうとあせつて居りましたが、車は少しも動きませんでした。これを見て居た私は氣の毒に思ひ堪へかねて『押して上げませうか』と申しますと『エー』と云ひますから、少し押してやりました。すると此度は不思議な程輕々と坂の上まで引き上げました、私は決してジヤンバルジヤンのやうに大力のある者でもなく、全力を出して押したと云ふわけでもありませんでしたのに、輕々と引上げたのは、確にその老人が後押しが出來たと思つた時に、或る一種の不思議な力があの人に出來たのであつたと思ひます、若しも私共がこの老人に對しての私より、より以上の强い力、不思議な力を持つて居られるイエスキリストが私共の後をいつも全力を以て押して居て下さると云ふことを、忘れずに居るならば、如何なる事もこれをなし遂げえられないことはないと思ひました。

彙報

●中央委員會

大正四年十月九日午後二時半牛込田町本部に於て開く、出席者は井深花子、ミス、ウエスト、ミセス、ヒキッシャー、ミセス、クレメント、ミス、ベーカー、ミス、カフマン、星野愛子、小此木松子、ミス、アズグード、鈴木歌子三谷民子、ミス、エマーソン、加藤高子、ミス、レーガン、河口正子の十六人。

井深花子の聖書朗讀及ミセス、クレメントの祈禱を以て開會す。三谷民子前會の記錄を朗讀し、ミス、レーガン七月三十日及九月十七日に開きし臨時中央委員會の記錄を朗讀す。

井深委員長は今回日本に來遊せられし合衆國女子青年會本部中央委員の一人なるミス、テーラーの母君ミセス、テーラー及び合衆國ウエルスレー大學及ニューヨルク女子青年會幹事養成所を卒へ今度本部幹事として來朝せられしミス、エマーソンを紹介すミス、エマーソンは目下日語學校にありて語學勉强中なり。ミス、テーラーもその會に出席の筈なりしが、京都より遲着の爲め缺席さる。

會計報告。ミス、レーガン報告書朗讀し受入可決豫算案、九月十七日執行されし財政委員會にて編纂せし豫算案をミス、レーガン朗讀。然して豫算案總額金五千〇九拾壹圓九拾四錢也を可決せり。よりて特別寄附により募集すべき金高は貳千百拾參圓なり

報告(イ)小此木松子より第十回夏期修養修養會の會計は決算の結果金九拾壹圓七拾九錢の不足金を生せし旨の報告あり。

(ロ)ミス、ベーカー横濱女子青年會近況を報告す。

(ハ)ミス、カフマンより東京女子青年會の近况につき報告あり、其の大要は目下聖書の組は八組ありて平均各十二人餘の出席者あり。三井病院に二つの聖書の組あり、寄宿舍は何れも順調にて第一寄宿舍に三十七人第二寄宿舍に三十人の舍生を有す、寄宿舍に各一組づゝの聖書の組あり。又旅行者の友は目下

三人の係員によりて處理さる、松崎氏のため東京品川程ケ谷間の特別乘車券下附出願中なり近々中に右の券下附さるべし。林氏にも上野、田端、赤羽間等同上。次に好友園には四十人の園兒を有し同所屬の日曜學校には六十人の生徒あり、凡ての日曜學校は五にして兒童總數二百人餘とす。尙好友園には二つの英語の組の讃美歌の組等あり八人のものオルガンの練習に來る。園庭は一週に三度も公開さる。一人の跛の女兒殆んど園内にありて他の三四人の者と共に編物をなし他よりの注文に應じつゝあり。又東京青年會委員は加藤高子を總幹事となす。ミス、メリー、マクローイは東京青年會に幹事と共に住み神田會館にて每週六時間づゝ體操を敎ゆる筈、目下日語學校に通學中。

　神田新會館に於て去る十五日該會館の建築に從事せし大工のために集會を催せり。開館披露は十八日に始まり右の一週間中三つの重なる招待會あり。即ち、

一、寄附者のため。(二)敎會内婦人會のため。(三)女子學生のためにて他に有職者のための集會もあり女子學生招待會には新渡戸博士講演あり、大工等のためには外村義郎氏講演ありたり。又新會館にては今後體操、和洋料理、生花、英語、聖書の組等を開設する筈なり。

(二)河口正子より第十回夏期修養會にて得たる興味ある靑年會各支部の報告をなす。

　財團法人につきて、理事及監事の改選を行ひ。投票の結果左の如し。

理事　河井道子、井深花子、津田梅子、岡見京子
ミス、マクドナルド

監事　三谷民子、ミス、ウエスト

右理事及監事の任期は財團法人設立の翌年即大正四年二月一日に始まりて三年の規定なれ共改選期に於て全部更迭する時は新理事及監事の不便を感ずること少なからざれば右任期は三年二年一年の三種とする事の提議可決し抽籤の結果、河井道子、津田梅子＝三年間(大正七年に至る)岡見京子、ミス、マクドナルド＝二年間(大正六年に至る)井深花子＝一年間(大正五年に至る)三谷民子＝三年間(大正七年に至る)ミス、ウエスト＝二年間(大正六年に至る)

現今本財團の財産なる不動産は皆東京青年會に屬するものなり然るに本財團と東京青年會の間には凡てこれら不動産の所有權並に納税義務は東京青年會に屬する事を示せる何等の契約書なしよりて右契約書の草案を作りこれを中央委員會に提出し、協定を得るの件附議さる。

ミセス、ヒキシャーの動議ミセス、クレメントの賛成により此の件は理事の手に委ね東京青年會と適當なる契約をなすべき事を一任する事に決す。

又故イー、ロッセー、ミラー氏の遺言書中に、東京市麹町區平河町六丁目二十二番地所在の同氏の住宅土地及其等の附屬品全部を女子青年會財團法人に遺贈する旨の記載あり、但内壹萬圓は日本基督教青年會財團法人に、金五千圓は日本基督教傳道局に支拂ふべき條件あり。右ミラー氏の遺贈を受納する件並に故人の日本基督教女子青年會の働きのため贈物をのこされしに對し厚き感謝狀をミラー氏令妹に送る件。共に可決。

函館遺愛女學校に女子青年會設立され同盟に加入したき旨申し來りし事を三谷民子より報告し、中央委員は右加入許可を決す。

●東京基督教女子青年會

新會館開設披露 ●●●●十月十九日　午後二時半より五時まで茶話會を開く、特別寄附者、本部及び東京委員、西洋婦人を招待し會長新渡戸まり子初め委員今西糸子、小室美恵子、福井夏子等主人役となりて應接す、後茶菓を饗す、他に二十五名餘の若き會員等會館全部を案内し來會者大凡百名にて實に盛會なりき尚當日印度支那に旅行の途次立ち寄られし西洋人等男女とも卅名餘り來館せり。▲十月廿一●●●●日　午後二時半、會場の講壇を白菊及常盤木を以て装飾し。階上應接間、三階の茶室等には菊花の飾を以てし、玄關は清らかにはききよめ萬端準備とゝのひて來客を歡迎す。市内各教育家、婦人團體、社會事業關係者を招待せり。定刻前に來會せられし方々

を集會前に館内を案内す。二時半よりは三谷民子女史司會にて新渡戶會長の挨拶あり。青年會過去十ケ年間の報告及び新會館につきて三谷民子女史の報告ありて後植村牧師の講話あり、終つて三通の祝電を朗讀し、井深明治學院長の院代理としての懇切なる祝詞あつて後感謝祈禱をさゝげらる。讃美歌『聖ナル〳〵』にて閉會し、會館巡覧の後茶室に入る。當日出席者は凡そ百九十名なりきこれを教會別にすればバプテスト、中央會堂、本鄕教會、麹町教會、靈南坂教會、富士見町教會、駒込教會、小石川教會、早稻田教會等よりにて多くの教會員來會さる其他神學社、三井慈善病院、婦人傳道會社、救世軍、東京男子青年會、横濱男女兩青年會よりも代表者の出席せられし事よろこびに堪へず。

●●●●

▲十月廿三日（土曜日）午後二時より女學生のために披露會を催す。定刻前より來館せらるゝ同情ある青年女學生諸姉蹤を接し大に勇氣づけられ、見る〳〵中に會場は滿員の盛況となれり口々に『まあよい建物ですことね』と言ふ言葉を耳にするの嬉しさ滿足に堪えず。京濱にある女學校を代表せる數卅餘校出席者三百名餘皆同情と興味を此の新會館に寄せらるゝ青年女子の集會とて一層賑々しく感ぜられたり。會は讃美歌を以て始まり新渡戶會長の挨拶幹事よりの報告ありて後、新渡戶博士の講演あり青年會の目的を事實にてらし見巧みなる諧謔を混へたる博士の講演には實に有益なるものありたり、讃美歌を以て終り會館巡覧の後茶菓の饗應あり、ピヤノの音に心ひかれて歸りを躊躇したる姉妹も多かりき。其盛會なりし事筆舌に絕す。

●●

▲同日午後六時より商館員、事務員、商店員等有職者招待會を催す、集會者八十名に過ぎざりしは殘念なりしも見慣れぬ諸姉の多くありしはよろこびに餘りあり。内には唯々廣告紙に心ひかれて來會されしも歸途には親しき友となり、再び訪館せんことを約し滿面によろこびを現はしたる姉妹のありし事も感謝す。日本銀行、勸業銀行、第一生命保險會社鐵道院、三越吳服店等より來られし姉妹多かりしは

青年會設立以來未曾有の事なり。開會は新渡戸會長代理羽仁もと子女史の挨拶を以てし、新渡戸博士の講話、適切にして同情ある博士の講演は、青年會の精神を遺憾なく發表せり。音樂茶菓の饗應會館案内より新しく語りて人々の去りしは十時頃なりき。何れの集會にも會の内容又事業につきての印刷物、入會申込書、及諸課目及時間表等を刷しものを來會者に配布し其の便宜に充つ。披露週も終りを告げたれば各學課は十一月一日より開始する都合なり。

▲大工職人、人夫等の慰勞會●●●●●●● 十月十五日會館の竣工につき内部の設備不完全なりしも大廣間にて慰勞會を催す。辯護士松波健彦氏の司會にて催會の主意を述べられ後外村氏の講話ありたり。此の壯麗なる會館の出來上りしは諸君の勤勉と熱心に依る事を感謝し又非常に名譽なる事と思ふ。尚此の建物の竣工による大なる喜びよりもつと以上の悦は、人間の人格を築き上げた時である、それ故諸君もキリストに依つて人格を作りあげ無上の悦を味はれんことを望むものであるとの極めて平易しかも意味深刻なる講話なりき、三越呉服店の少年音樂隊の餘興ありて折詰すしと茶菓を供す。いづれも竣工せし建物をながめ歡喜に堪えざる樣誠に美はしかりき、集會者は六十名以外なり。

上述の如く新會館披露會の成功せしは一偏に同情と興味を有せらるゝ諸姉妹の手傳はれしによる事を信ずこゝに右姉妹方及び多くの同情者に對し紙上に於て深く感謝の意を表す。

●横濱女子青年會

幹事ミス、ベーカー不在なりしため四月より九月まで伊藤きく子に事務を掌さどらしむ。會員一同各自其責任をおひ會に對し多大の興味をもちてこれを助け活動せり。會員增加す又茶の時間に來る者も增加せり九月より秋期の活動始まり城戸順子氏の聖書の組は十二人餘りの出席者ありて以前より增加す。極初心の求道者の組一組あり。尚子供の爲めの英語の組あり。ヒヤノ練習に來る。ミシン裁縫の組ありて三人の者これに屬し男子青年會幹事スネード氏夫人この組を教ゆ。一月一回會員のみの集會ありて祈禱感話協議等をなすこは全く會員のみの手によりて司さどるものなり。尚他に二つの亀會あり。大阪プール女學校の卒業生にして米國に赴かんとする一婦人にシヤトル及ボストン青年會への紹

介狀を與ふ。▲東京に於ける家庭製作品奬勵會の一部として橫濱に於ける婦人一致して今回御大典奉祝用の小國旗徽章を賣るこれが爲め活動せる婦人の多くは靑年會員にして彼等は靑年會のため多額の金をえんと努めつゝあり。▲一週一度橫濱公園に於て會員一同戶外運動をなし且種々の遊戲をなす。

●名古屋金城女學校靑年會　大正元年の秋より靑年會を開きたり、正會員四十名。準會員十二名、名譽會員十二名第一學期の始めに親睦會を催す、第一の日曜日と第三日曜日に例會を開く、靑年會の事業として共務會を催す、每週木曜日の授業後に開く、主に編物、刺繡、縫物、糸つなぎ、これ等各々學年に應じてなす、出征軍人の爲めに慰問袋を送りたり。

●同志社女學校靑年會　大正三年九月以後每週月曜日の正午に例會（主として祈禱會）を行ふ、又一ケ月一回神戶よりベックストン先生を招聘し特別講演を仰ぐ、每週金曜日の放課後仕事會を設く、去る年の秋觀月會を催し淸く澄める月光のもとに初の大いなるみわざを讃美し互に親睦したり。

●捜眞女學校靑年會　一、大正三年十月本部より支部として加入することを許可さる。一、同十月二十九日本校講堂に於て女子靑年會發會式を擧行す。當日河井幹事の御出席ありて「靑年會の主旨」に付き委しき御講話有り。一、會の組織及會員數、贊助員（布敎師にして本會の主旨に贊し補助せらるゝもの）正會員（公の信者にして敎會に屬せるもの）準會員（未信者）贊助員十二名、正會員三十六名、準會員二十一名、合計六十九名（贊助員中より二名の顧問を選ぶ。學校と會との連鎖と成る。）一、各部の報告、傳道部、共勵部、慈善部、會員誘導部の四部を設く。各部に部長、書記、會計各々一名を置く。傳道部主催の例會二回、共勵部主催の例會四回。本部主催の例會五回、合計十一回、この內傳道部主催の二回と共勵部主催の一回とは敎師或は牧師を聘す。一、會の働、大正四年二月二十八日フェリス學校講堂に於て萬國靑年學生のために祈禱會を開催す。フェリス、共立、捜眞の主催、〇每日曜日の午後正會員は十三ケ所の日曜學校を敎ふ。〇平均一ケ月一回木曜日の最終時間に生徒のみの集會あり、各組々に靑年會の事務委員司會の責任を負ふ、たゞに定りたる時間に於て指導するのみならず擔任者は受持の組の者のために種々なる方法を講じて指導す。又每日曜日の寄宿舍の夜の集會を組會と名づけて女子靑年會指導の任を負ふ、六組に分ちて聖書研究會を開く、A約十四章―十七章、B黙一章六章、C約十四章―十七章、Dテモテ前書、E天路歷程、F聖書物語、但し研究會は四月以降にして是より先は普通集會なり。〇顧問の一人なる山田先生と正會員の一人とは每週一夜川崎電氣會社の男工女工に修身、家政學、英語を敎授せられ集會をも開きて讃美歌、聖書を敎へらる、その結果監督者他三名信者となる。〇本學期入學生の內二名の生徒を補助す。〇慈善部を通じてベルジームへ寄附す、每日曜日に敎會の裝飾の任を負ふ、並びに唱歌隊を組織して禮拜の時に歌ふ。備考、學校の先生方をはじめ姉妹方の御助力は元よりながら兎に角に靑年會事務委員の働に由りて九名の受洗者を出す、尙ほ十一名のもの時期を待て受洗せんとするものあり。

●弘前女學校靑年會　昨年五月創立にかゝり諸設備完備せずと雖ども計畫中のもの種々あり。以前矯風會委員などありしが此度靑年矯風部及慈善部と改む、會員六十八名、內正會員十七名、每月第一、二、三、木曜日に集會を開き第一は祈禱會、矯風文學會にあて

諸先生の講話を願ふ、第二第三は慈善部の仕事目として主に手藝品製作、賣た利金はそれ〴〵慈善の爲めに用ふ、昨年十月ベルギーの爲めに三圓許り用ふ、三月には卒業生の送別會を開き又四月には新入學生の歡迎會を催す。青年會とは如何なるものなるかを知らしめんが爲め苦心中のところ漸次了解せらるゝに至れり。

●ウイルミナ女學校青年會

一、去年の四月から今年の四月までに信者になられた人二十名。二、會の働、十ヶ所の日曜學校を教ふ、靜肅時間、信者の集（學校、級、青年會及未信者の爲）。三、個人傳道性質の合ふ人を選び特別に其の人の爲めに祈り教會に導くやうにする。四、信者は新入學生を特別に歡迎する。五、貧乏人を先生が訪問す。六、ベルジウムに寄附す。七、時々外爲の癩病人を訪問し又寄附もす。八、良心箱へ賣上高二百十六圓八十錢諸支出を引去り殘金八十餘圓ありこれにて代表者を送る）。九、慈善費金七十一圓九十五錢五厘、適當なる方法に用ゆ。十、以上の如くにして學校と青年會とは密接なる關係を持つ。

●大阪プール女學校青年會

〇祈り會、毎週二回、金曜日夕食後、寄宿生のため部長を撰び、部長より命ぜられし者司會す、月曜日、午の三十分程の間に開く、通學生のため、祈り會は一同の最も樂しとするものにして常に盛會と云ふを得。〇日曜學校、青年會附屬日曜學校四つ、三ヶ所の教會を助く、最も盛なるは、平均百名內外、最もふるはざるも平均四十名。〇紡績訪問、日曜日午後六時頃より九時頃まで青年會員十人位會社の寄宿舍に行き讃美歌會を開き、キリストの話を傳へ後病人を訪問す、集會には平均百名內外の工女集る二百名程の多きに至る事あり。〇雜誌販賣部、係り員一人を選び女子青年界及び日曜世界を賣る。〇慈善會、毎週金曜日午後三時より九時まで袋物、編物、造花、ミシン物等一二年三回バサーを開く。〇給品部、學用品日用品を販賣す、毎日十二時より一時まで店を開く。〇博愛社、大阪府西成郡に在る孤兒院にして凡そ百五六十名を養ふ、卒業生の一人は彼等の監督をつとめられ、我校及び我が青年會と深き關係を有す、今曜日毎に各級に同社の爲めの寄附金を募る、學期の末に至りて其箱を開き、まとめて他の贈り物と共に社に送る。〇慰問部、二人の委員を選び卒業生及び休學せる姉妹を訪問し或は手紙を以て慰問す。

●女子學院青年會

前年度特別事業として、音樂會を開く音樂の種類はオルガン、ピアノ、ヴァイオリン、歌にて演奏者は會員、其結果利益十五圓を得たり。

●上田梅花幼稚園保姆傳習所青年會

當會は本部に加入致してより未だ一年にならず然し追々盛會になりつゝ有る事を深く感謝す、現在會員二十名にすぎず、一年間の重なる活動としては過去一年間に準會員たりし三名の姉妹をして會員の熱心なる祈りによりて正會員たらしめたる事及び少數なる會員中より今度代表者一　並に當會より二三の會員を送る事を得諧會の有功なる御活動振りも承る事を得し事を何よりの幸福と致す。

●橫濱共立女學校青年會

一、大正三年十月共同傳道準備傳道を海岸教會にて二晩開く、各晩來會者凡そ三百五十名、辯士、河井道子先生、根本正先生、三谷民子先生の三氏なりき。二、同じく十一月例年の如く感謝祭をなす、百餘名の貧民に施す、同年は特に橫濱市女子青年會と東京府立第一高等女學校と東京女子青年會寄宿舍の方々より多大のお助を受け例年より盛んにする事を得。三、音樂會を催す、從來は手藝品をアメリカに賣りて其利益高

にて修養會出席者を送りしが今年は音樂會の利益にてなせり純利益高凡七十九圓なり。四、日曜學校生徒の爲めに圖書室を設け對物を子供等に貸與す。

●東洋英和女學校青年會

大正四年度、會員數四十五名、大正四年二月十日當校女子青年會設立せしより此に五ヶ月天助によりて聊かなし得し事を左に報ぜんとす、當校事業は左の各部に分擔して之れを行ふ即ち傳道部、祈禱部、視察部、矯風部及び販賣部仕事部之なり。一、傳道部、祈禱部及矯風部は毎月一回（水曜日）各自主催の集會を開き校外より辯士を招き講演を依頼せし事二回にして他は職員或は生徒司會の勞を取る、當祈禱部の働きとしては毎週日曜日午後三後三時半より同四時迄祈禱會を開き矯風部は校內少年禁酒軍四回の集會の監督せり。二、視察部集會三回（イ）退校の教師及卒業生の爲めの送別會。（ロ）新入生の爲の歡迎會。（ハ）誕生日會、音信は約十三回にして職員卒業生及生徒の慶事、不幸、疾病の際に送れり、この部は誕生日箱を保管しクリスマスの節に日曜學校への寄附金とす、當會設立以來の金高一圓十錢也。三、仕事會は特に裁縫、編物等の爲毎月第二第四の金曜日午後七時より九時迄とし手になりし物品は主にバサーによりて賣捌き以て純益約七十圓を得たり。四、販賣部は午前七時半より八時まで午後は零時半より一時迄開店し主に學用品及び日用品を賣捌き賣上總額金三百四十圓の純利益總額三十五圓六十八錢也。會計報告。收入金、百二十一圓十八錢也。支出金、百十九圓十五錢也、差引現在金二圓〇三錢也（支出の主なるもの）。一、辯士に謝禮として、金四圓也。一、學生一名に學費として金六圓五十錢也。一、支那傳道へ寄附金十圓也。一、青年會本部へ寄附金十圓也。一、送別歡迎及誕生日會費用として金三圓三十錢也。一、夏期修養會代員　金五十二圓也。一、郵使代及雜費金二十一圓三十五錢也。

●桑港日本人女子青年會

我が基督教女子青年會も此種の事業と比して、其發達進歩極めて遲々たりと雖も、創立以來三ヶ年間の結果、亦大に見るべきものあるを見ては、感謝に堪へざるなり。功は會員諸姉の熱心と同情ある諸君の援助とに歸せざる可らず。其事業も宗教、教育、社交、移民、寄宿の各部漸々進捗し、働も漸次見るべきものあり。

（一）宗教部　寄宿内の日曜午後の小集、講演會等ありて、內は會員及在留婦人の爲め、精神修養の道を開き、外は米人諸教會の招きに應じて演說講話等をなして、日本及日本人を紹介して日米の親善に資する所あり。是等は重にハウオース幹事安孫子夫人等の働きにして、修養の諸集會は大澤夫人專らこれに勉めらる。講演者の重なるものは、綱島牧師、ヴエール孃、河非孃、マシユー孃等にして、幹事及委員の出席講話せしは第一組合、第一長老、キヤルバリー長老、メルローズ組合、サンセット組合、七街及ゴールデンゲート組合、其他の米人傳道會等なり。

（二）教育部　教育部には英語學校と裁縫部あり、英語部は現在十四名の生徒あり。裁縫部は小幡夫人の辭任以來、大橋夫人これに代り現に八九名の生徒を有す、英語部の教師の重なるものは、ハオース夫人、ポーチ夫人等なるが、チツプベツク、キンシンガー、ブリー、ペラツカー等の諸夫人またこれを助けられたり。

（三）社交部　社交的集會は内外各所に催されたり。沼野領事夫人の好意に由り、其邸內に三四回の親睦會は催され、河井女史、マシユー女史、スペンサー孃等は其主賓にして、內外の婦人出席せるもの

多し。英語部の親睦會、クリスマス祝會、ハウス幹事及傳道團青年會員の歡迎會賑はしく、舍監渡邊夫人の送別會員木村縣のケッチンシヤワーなど盛なり。音樂會は會員の大活動に由り、白人青年會の會場は立錐の地なく、二百弗に近き純益金を收めたり。移民總監カミネチ氏、移民課員の一人なるパーレット夫人を中心として懇談會は大博場內、青年會內に開かれ重なる日本人と本會役員諸氏出席、談話を交換せり、大博傳道會議の請に由り第一組合教會內の集會に十六名の若き會員等純日本服　にて出席せり。

（四）移民部　移民部の働きの重なる者は、入港汽船中の婦人訪問にて、ハウオース幹事、專らこれに當る。每便必ず船中に渡米婦人を訪問し、慰問案內の便を與へ、また天使島に抑留婦人を往訪するなど極めて肝要なる働にて、將來更に一層の力を用ふるを要す。

（五）寄宿部　渡邊夫人舍監となり監督せられたるが、辭任の後臨時に谷夫人世話せらる。本年中在舍宿泊せられたる者其數六十餘名にて、現在は八名の在宿者あり。

（六）諸集會　本年中の諸集會は、役員會七、親睦會六音樂會一、評議員會二、講演會四と其他社交の諸集會なり。

（七）現在の役員　本會現在の役員は、

會長　小室かね子　副會長　森下ひろ子

會計、缺員。幹事。ハウオース　舍監　谷　道　子

評議員

大澤夫人　千葉夫人　安孫子夫人

小室夫人　小林夫人　宮崎夫人　小平夫人

谷　夫　人　井木夫人　小池夫人　森下夫人

名尾夫人　佐野夫人　大久保夫人（桑）福島夫人

木庭夫人

消息

○ミス、ペーシ（東京青年會特志幹事）　十月十九日地洋丸に歸朝。

○ミス、マカーワン（大阪在住の夏期修養會委員）　十月中旬上京本部及新會館訪問。

○河井信三氏（河井總幹事の令弟）　十月七日札幌に於て中西幸子氏と結婚。

○湯田きみの（女子英學塾卒業生）　山口、札幌等の高等女學校に教鞭をとられしが、御病氣にて休職され居りし處、其後全快され、今回當本部の事務員に就職。

○井上靜子　九月二十日、女兒出産、初子と命名せられ母子共に健全。

○ミス、テーラー　母君と共に京都より歸られ目下本部に滯在中。

○高橋久與子（女子英學塾卒業生）　十月初旬德島縣立高等女學校に赴任。

○會友申込　（本部報告）

（普通）　寺內ぶん子　長谷川淑子

○會友會費領收　（本部報告）

金壹圓也

水野萬壽子（大正四ノ五ー五ノ四）　三宅あい子（大正四ノ六ー五ノ五）

白上近子（大正四ノ五ー五ノ四）　寺內ぶん子（大正四ノ一ー四ノ十二）

長谷川淑子（大正四ノ十ー五ノ九）　花村むつ子（大正四ノ八ー五ノ七）

松本貞子（大正四ノ四ー五ノ三）　諏訪ふみ子（大正四ノ四ー五ノ三）

岡山はな子（大正四ノ九ー五ノ八）　馬場靜江（大正四ノ四ー五ノ三）

高倉寧子(大正五ノ二ー六ノ一) 高折かなを(大正四ノ四ー五ノ三)

金貳圓也

渡邊すみ子(大正四ノ十ー五ノ九)

○雜誌「女子青年界」代金領收

金七拾錢也

井上文子(大正四ノ一ー四ノ十二) 藤ケ谷貞子(大正四ノ三ー五ノ二)
宮崎貞子(大正四ノ八ー五ノ七) 木戸田捨子(大正四ノ十ー五ノ九)
栗田みさ子(大正四ノ一ー四ノ十二) 三井捨子(大正四ノ三ー五ノ二)
木村正子(大正四ノ一ー四ノ十二) 澤田きよ子(大正頭ノ九ー五ノ八)
清水種子(大正四ノ二ー五ノ一) 萬俵賀一(大正四ノ九ー五ノ八)
坂本しん子(大正四ノ九ー五ノ八) 林高野子(大正四ノ十一ー五ノ十)

金參拾五錢也

和田きし子(大正四ノ十ー五ノ三) 福原なみ子(大正四ノ十ー五ノ三)
白石せん子(大正四ノ十ー五ノ三) 重田とみ子(大正四ノ十ー五ノ三)

金壹圓也

山野井末代(大正四ノ九ー五ノ十二)

金七拾五錢也

中村玉子(大正四年七月號十册代)

金四拾九錢也

ミス ステイーブンソン(大正四ノ五ー四ノ十二)

金貳拾八錢

兵頭讓子(大正四ノ五ー四ノ九)

金參圓貳拾貳錢也

高折かなを(大正四年七月號二十一册及同十月號二十四册代他ニ九月號一册代)

金九圓拾錢也

共立女學校(大正四年九月號六十五册代)

金四拾九錢也

深澤喜代子(大正四ノ八ー五ノ二)

金壹圓也

河本香芽子(大正五ノ三ー六ノ六)

National Committee

Headquarters. 12 Tamachi Sanchome, Ushigome, Toky

Mrs. Hana Ibuka, Chairman
Dr. Kei Okami, Vice-Chairman
Miss Tami Mitani, Secretary
Dr. Tomo Inouye, Treasurer
Miss Michi Kawai,

Active Member World's Committee

Resident Members	Non-Resident Members
Miss Ume Tsuda	Madame Asa Hirooka, Osaka
Miss A. B. West	Mrs. Koito Saiki, Kyoto
Miss Uta Suzuki	Miss M. F. Denton, Kyoto
Miss Kita Hasegawa	Miss Michi Matsuda, Kyoto
Miss Sarah Ellis	Miss Yoshi Kajiro, Okayama
Miss Chiyo Yamada	Miss K. Tristram, Osaka
Mrs. E. W. Clement	Miss Susan Searle, Kobe

Secretaries

Miss Michi Kawai, National
Miss A. C. Macdonald, National,
Miss Ruth Ragan, National Office
Miss Margaret Matthew, General, Tokyo
Miss Mary Page, Associate, Tokyo
Miss Emma Kaufman, Associate, Tokyo
Miss Mary Baker, General, Yokohama

本誌定價	
一部(郵共)	金七錢
一ケ年分	金七拾錢
海外	金拾壹錢 / 金壹圓廿錢

廣告料	
一頁	金六圓
半頁	金三圓五十錢
四分ノ一	金貳圓
一行	金貳拾錢

大正四年十一月廿八日印刷納本
大正四年十一月一日發行

發行所 東京市牛込區田町三丁目十二番地 日本基督教女子青年會
編輯兼發行人 東京市牛込區田町三丁目十二番地 河井道子
印刷人 東京市芝區櫻田和泉町七番地 前川治次郎
印刷所 東京市芝區櫻田和泉町七番地 三成會

THE YOUNG WOMEN OF JAPAN

(Joshi Seinen Kai)

Volume XII | November, 1915 | Number 10

The regular meeting of the National Committee was held in October at the National headquarters in Ushigome, Tokyo. The budget which was passed for the fiscal year beginning October 1 provides for ¥5091, of which amount ¥2113 must be raised by special subscription.

Miss Baker reported that during her absence in Yokohama the Japanese girls had taken a great deal of responsibility for the work there. The autumn work has begun with larger numbers in Miss Kido's Bible class, English classes, five girls taking piano lessons and practising at the Association, two girls practising on the typewriter, three others taking sewing machine lessons with Mrs. Sneyd, wife of the Y.M.C.A. secretary. Once a month the members meet for prayer and discussion, and several girls have joined a class for outdoor games.

Miss Kaufman reported for the Tokyo Association that there are twelve Bible classes of about two hundred girls, five Sunday schools with two hundred children. At the Neighborhood House, besides the regular classes and the playground, there is a hymn singing class and eight organ pupils. At the recent Tokyo Association Committee meeting Miss Taka Kato was appointed general secretary of the Tokyo Association. Miss Mary McCloy has been secured to direct the physical work in the new Association building.

Some interesting items were culled from the reports of student Associations at the summer conference. Soshin School holds weekly meetings in an electric works, with instruction for both boys and girls in English, Bible and hymn singing; also in domestic science. The superintendent and three boys have been baptized. Poole's School holds weekly meetings in a spinning factory. Kobe College had a party for girls in the telephone office, then organized a Sunday School for them.

The late Rev. E. Rothesay Miller has bequeathed to the National Association incorporation (zaidan) his house and property in Kojimachi for the benefit of girl students in Tokyo, with the condition that the Association pay certain bequests to the National Young Men's Christian Association and to the Japanese Presbyterian church. This generous gift from Mr. Miller, who has long been a close friend of the Association, was accepted with deep appreciation by the National Committee.

The new Association of 140 members recently organized in Iai Girls School in Hokodate was affiliated with the National Committee.

The new building of the Tokyo Association at 14 Kita Jimbocho, Kanda, was opened October 15, with a meeting for the carpenters and other laborers on the building. Mr. Tonomura gave an evangelistic talk, and several members of the Mitsukoshi Boys' Band gave musical selections. During the opening week about eight hundred people attended the receptions and meetings. Rev. Uemura spoke to the women's societies from the various churches, and Dr. Nitobe spoke to the students on Saturday afternoon, who overflowed the auditorium. Dr. Nitobe also spoke to one hundred girls from offices and business houses that evening. One afternoon the thirty teachers, including the principal's wife, of a girls' school next door to the Association attended the reception

院長診察｛月、水、木、金、午前
　　　　｛入院診斷後應需

松田、林、峰間、三副長は目下當院に在勤

東洋內科醫院

電話番町六二番

東京市麴町區三番町三十番地

院長 醫學士 高田畊安

神奈川縣高座茅ヶ崎町相海濱
從停車場半里

南湖院

電話チガサキ二番

河野、高橋、兩副長は目下當院に在勤

院長診察、土曜日午後、入院、診後應需

御大典に因める
新意匠の

御半ゑり類

種々取揃へ申候

神田一ツ橋通

二京商店

大正四年十月廿八日印刷納本大正四年十一月一日發行　明治卅七年五月七日第三種郵便物認可